INDEX

数字

10 ギガビット イーサネット インターフェイス 11-7

A

AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 1-12
ABR 39-34
access-class コマンド 35-20
ACE
  IP 35-2
  QoS 37-8
  イーサネット 35-2
  定義 35-2
ACL
  ACE 35-2
  any キーワード 35-13
  host キーワード 35-13
  IP
    暗黙の拒否 35-10, 35-15, 35-17
    一致条件 35-8
    作成 35-8
    フラグメントおよび QoS の注意事項 37-38
    未定義 35-22
    無視マスク 35-10
  IPv4
    一致条件 35-8
    インターフェイスへの適用 35-20
    作成 35-8
    サポートされない機能 35-7
    端末回線、設定 35-19
    名前付き 35-15
    番号 35-9
  IPv6
    一致条件 36-4
    インターフェイスへの適用 36-9
    サポートされない機能 36-3
    スタック 36-4
    制限事項 36-3
    設定 36-4, 36-6
    他の機能との相互作用 36-5
    名前付き 36-3
    表示 36-10
    優先 36-3
MAC 拡張 35-28, 37-54
QoS 37-8, 37-50
QoS クラス マップあたりの数 37-38
QoS のトラフィックの分類 37-50
VLAN マップ
  設定 35-31
  設定時の注意事項 35-32
エントリのシーケンスの再編集 35-15
拡張 IP、QoS 分類用の設定 37-51
拡張 IPv4
  一致条件 35-8
  作成 35-11
コメント 35-19
コンパイル 35-23
サポート 1-10
サポートされない機能
  IPv4 35-7
  IPv6 36-3
サポートされるタイプ 35-2
時間範囲 35-17
照合 35-8, 35-21
定義 35-2, 35-8

適用
IPv6 インターフェイスに対して 36-9
QoS に対する 37-8
インターフェイスに対して 35-20, 36-9
時間範囲 35-17
スイッチド パケット上 35-38
ブリッジド パケット上 35-39
マルチキャスト パケット上 35-40
ルーテッド パケット上 35-40
名前 36-5
名前付き
IPv4 35-15
IPv6 36-3
ハードウェアおよびソフトウェアの処理 35-22
ハードウェアでのサポート 35-22
標準 IP、QoS 分類用の設定 37-50, 37-52
標準 IPv4
一致条件 35-8
作成 35-10
ポート 35-3, 36-2
モニタリング 35-41, 36-10
優先 35-3
ルータ 35-3, 36-2
ルータ ACL および VLAN マップの設定時の注意事項 35-37
ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する方法 35-37
例 35-23, 37-50
レイヤ 4 情報 35-38
ログ メッセージ 35-9
ARP
カプセル化 39-13
スタティック キャッシュ設定 39-12
設定 39-12
定義 1-6, 5-32, 39-11
テーブル
アドレス解決 5-32
管理 5-32
ASBR 39-34
AS パス フィルタ、BGP 39-65
Auto-MDIX
設定 11-23
説明 11-22

B

BackboneFast
イネーブル化 20-17
サポート 1-8
説明 20-7
ディセーブル化 20-17
BGP
CIDR 39-72
clear コマンド 39-75
show コマンド 39-75
イネーブル化 39-58
コミュニティ フィルタリング 39-68
サポート 1-14
集約アドレス 39-72
集約ルート、設定 39-72
スーパーネット 39-72
セッションのリセット 39-61
説明 39-55
デフォルト設定 39-55
ネイバー、タイプ 39-58
ネイバーの設定 39-70
バージョン 4 39-55
パス選択 39-62
ピア、設定 39-70
プレフィクス フィルタリング 39-67
マルチ VRF CE でのルーティング セッション 39-97
マルチパスのサポート 39-62
モニタリング 39-75
ルーティング ドメイン連合 39-72
ルート ダンピング化 39-74
ルート マップ 39-65
ルート リフレクタ 39-73

BPDU
errdisable ステート 20-2
RSTP フォーマット 19-13
フィルタリング 20-3
BPDU ガード
イネーブル化 20-14
サポート 1-8
説明 20-2
ディセーブル化 20-15
BPDU フィルタリング
イネーブル化 20-15
サポート 1-8
説明 20-3
ディセーブル化 20-16

C

Catalyst 6000 スイッチ
認証の互換性 9-9
CA の信頼点
設定 6-54
定義 6-51
CDP
LLDP による定義 28-1
アップデート 27-2
イネーブル化およびディセーブル化
インターフェイス上 27-4
スイッチ上 27-3
概要 27-1
サポート 1-7
信頼境界 37-45
スイッチ スタックに関する考慮事項 27-2
設定 27-2
説明 27-1
送信タイマーおよびホールドタイム、設定 27-2
デフォルト設定 27-2
モニタリング 27-5
ルーティング デバイスに対するディセーブル化 27-3 ～ 27-4
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-8
CEF
IPv6 40-22
定義 39-103
分散 39-103
CGMP
IGMP スヌーピングの学習方式として 24-9
概要 45-10
キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 45-69
サーバ サポートのイネーブル化 45-50
サーバのサポートだけ 45-10
スイッチのサポート 1-4
マルチキャスト グループへの加入 24-3
CIDR 39-72
CipherSuite 6-52
Cisco 42-1
Cisco 7960 IP Phone 15-1
Cisco Express Forwarding
「CEF」を参照
Cisco Group Management Protocol
「CGMP」を参照
Cisco IOS DHCP サーバ
「DHCP、Cisco IOS DHCP サーバ」を参照
Cisco IOS File System
「IFS」を参照
Cisco IOS IP SLA 42-1
Cisco Secure ACS
ダウンロード可能な ACL のアトリビュートと値のペア 9-21
リダイレクト URL のアトリビュートと値のペア 9-21
Cisco Secure ACS コンフィギュレーション ガイド 9-64
Cisco StackWise Plus テクノロジー 1-3
「スタック、スイッチ」も参照
CiscoWorks 2000 1-6, 33-4
CISP 9-33
CIST リージョナル ルート
「MSTP」を参照
CIST ルート

「MSTP」を参照
CLI
エラー メッセージ 2-5
コマンド出力のフィルタリング 2-10
コマンドの no 形式および default 形式 2-4
コマンドの省略 2-4
コマンド モード 2-1
設定ロギング 2-5
説明 1-6
ヘルプの利用方法 2-3
編集機能
イネーブル化およびディセーブル化 2-7
画面幅よりも長いコマンドライン 2-9
キーストロークによる編集 2-7
履歴
コマンドの呼び出し 2-6
説明 2-6
ディセーブル化 2-7
バッファ サイズの変更 2-6
Client Information Signalling Protocol
「CISP」を参照
CLNS
「ISO CLNS」を参照
CNS
Configuration Engine
configID、deviceID、ホスト名 4-3
イベント サービス 4-3
コンフィギュレーション サービス 4-2
説明 4-1
管理機能 1-6
組み込みエージェント
イベント エージェントのイネーブル化 4-8
コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 4-9
自動設定のイネーブル化 4-7
説明 4-5
CoA 要求コマンド 6-23
config.text 3-22
configure terminal コマンド 11-10
CoS
プライオリティの変更 15-7
プライオリティを信頼 15-7
CoS/DSCP マップ、QoS 用 37-76
CoS 出力キューしきい値マップ、QoS 用 37-20
CoS 入力キューしきい値マップ、QoS 用 37-17
CPU 使用率、トラブルシューティング 48-23
crashinfo ファイル 48-20

D

DACL
「ダウンロード可能な ACL」を参照
dCEF、スイッチ スタックでの 39-103
Default Router Preference
「DRP」を参照
default コマンド 2-4
description コマンド 11-24
DHCP
Cisco IOS サーバ データベース
設定 22-15
説明 22-6
デフォルト設定 22-9
DHCP for IPv6
「DHCPv6」を参照
イネーブル化
サーバ 22-10
リレー エージェント 22-11
DHCP Option 82
回線 ID サブオプション 22-5
概要 22-3
設定時の注意事項 22-9
デフォルト設定 22-8
転送アドレス、指定 22-11
パケット形式、サブオプション
回線 ID 22-5
リモート ID 22-5
表示 22-16
ヘルパー アドレス 22-11

リモート ID サブオプション 22-5
DHCPv6
DHCPv6 サーバ機能のイネーブル化 40-19
クライアント機能のイネーブル化 40-21
設定時の注意事項 40-18
説明 40-8
デフォルト設定 40-18
DHCP サーバのポートベース アドレス割り当て
イネーブル化 22-28
設定時の注意事項 22-28
説明 22-27
デフォルト設定 22-28
表示 22-31
予約アドレス 22-29
DHCP スヌーピング
Option 82 データ挿入 22-3
エッジ スイッチからの信頼できないパケットの受け入れ 22-3, 22-13
信頼できないインターフェイス 22-3
信頼できないメッセージ 22-2
信頼できるインターフェイス 22-3
設定時の注意事項 22-9
デフォルト設定 22-8
バインディング データベース
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
バインディング テーブルの表示 22-16
プライベート VLAN 22-14
メッセージ交換プロセス 22-4
DHCP スヌーピング バインディング データベース
イネーブル化 22-15
エージェント統計情報のクリア 22-16
エントリ 22-7
削除
データベース エージェント 22-16
バインディング 22-16
バインディング ファイル 22-16
ステータスおよび統計情報の表示 22-16
設定 22-15
設定時の注意事項 22-10
説明 22-6
データベースの更新 22-16
デフォルト設定 22-8, 22-9
バインディング 22-7
バインディング エントリ、表示 22-16
バインディングの追加 22-15
バインディング ファイル
場所 22-7
フォーマット 22-7
表示 22-16
ステータスおよび統計情報 22-16
バインディング エントリ 22-16
リセット
タイムアウト値 22-16
遅延値 22-16
DHCP スヌーピング バインディング テーブル
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
DHCP バインディング データベース
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
DHCP バインディング テーブル
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
DHCP ベースの自動設定
BOOTP との関係 3-4
概要 3-4
クライアント要求メッセージ交換 3-5
サポート 1-6
設定
DNS 3-9
TFTP サーバ 3-8
クライアント側 3-4
サーバ側 3-7, 22-10
リレー デバイス 3-9
リース オプション
IP アドレス情報用 3-7
コンフィギュレーション ファイル受信用 3-7
リレーのサポート 1-6, 1-15

例 3-11
DHCP ベースの自動設定およびイメージ アップデート
概要 3-6 ～ 3-7, 3-12 ～ 3-13
設定 3-14 ～ 3-17
diagnostic schedule コマンド 49-2
DiffServ アーキテクチャ、QoS 37-2
DiffServ コード ポイント 37-2
Diffusing Update Algorithm（DUAL） 39-46
distribute-list コマンド 39-117
DNS
DHCP ベースの自動設定 3-9
IPv6 内 40-5
概要 5-16
サポート 1-6
設定 5-17
設定の表示 5-18
デフォルト設定 5-17
DNS ベースの SSM マッピング 45-21, 45-23
dot1q-tunnel スイッチポート モード 13-17
DRP
IPv6 40-6
設定 40-16
説明 40-6
DSCP 1-13, 37-2
DSCP/CoS マップ、QoS 用 37-79
DSCP/DSCP 変換マップ、QoS 用 37-80
DSCP 出力キューしきい値マップ、QoS 用 37-20
DSCP 入力キューしきい値マップ、QoS 用 37-17
DTP 1-9, 13-16
DUAL 有限ステート マシン、EIGRP 39-46
DVMRP
DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 45-57
mrinfo 要求、応答 45-60
概要 45-10
サポート 1-15
自動サマライズ
サマリー アドレスの設定 45-65
ディセーブル化 45-67
相互運用性
Cisco IOS ソフトウェアとの 45-10
シスコ デバイスによる 45-55
送信元配信ツリー、構築 45-10
トンネル
設定 45-57
ネイバー情報の表示 45-60
ネイバー
情報の表示 45-60
デフォルト ルートのアドバタイズ 45-59
非プルーニングとのピアリングの禁止 45-63
非プルーニングの拒否 45-62
プローブ メッセージによる検出 45-55
ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 45-61
ルーティング テーブル 45-10
ルート
MBONE に入る数の制限 45-64
Syslog メッセージのしきい値の変更 45-64
削除 45-69
すべてをアドバタイズ 45-67
ネイバーへのデフォルト ルートのアドバタイズ 45-59
表示 45-69
別のものよりも優先する 45-67
メトリック オフセットの追加 45-67
ユニキャスト ルート アドバタイズメントの制限 45-55
レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 45-61
dynamic auto トランキング モード 13-17
dynamic desirable トランキング モード 13-17
Dynamic Host Configuration Protocol
「DHCP ベースの自動設定」を参照

E

EBGP 39-54
EEM 3.2 34-5
EIGRP
インターフェイス パラメータ、設定 39-51
コンポーネント 39-46

サポート 1-14
設定 39-50
定義 39-46
デフォルト設定 39-47
認証 39-52
モニタリング 39-53
EIGRP スタブ ルーティング 39-31
ELIN ロケーション 28-3
enable password 6-3
Enhanced IGRP
「EIGRP」を参照
errdisable ステート、BPDU 20-2
EtherChannel
IEEE 802.3ad、説明 38-7
LACP
システム プライオリティ 38-23
ステータスの表示 38-25
説明 38-7
他の機能との相互作用 38-8
ポート プライオリティ 38-24
ホット スタンバイ ポート 38-23
モード 38-8
PAgP
Catalyst 1900 との互換性 38-22
学習方式およびプライオリティの設定 38-21
仮想スイッチとの相互作用 38-6
サポート 1-4
集約ポート ラーナー 38-21
ステータスの表示 38-25
説明 38-5
他の機能との相互作用 38-7
デュアル アクティブ検出の使用 38-6
モード 38-6
サポート 1-4
自動作成 38-5, 38-7
スタックの変更、作用 38-10
ステータスの表示 38-25
設定
レイヤ 2 インターフェイス 38-13
レイヤ 3 物理インターフェイス 38-17
レイヤ 3 ポート チャネル論理インターフェイス 38-16
設定時の注意事項 38-12
説明 38-2
相互作用
STP との 38-12
VLAN との 38-13
チャネル グループ
番号付け 38-4
物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインディング 38-4
デフォルト設定 38-11
転送方式 38-9, 38-20
ポート グループ 11-6
ポート チャネル インターフェイス
説明 38-4
番号付け 38-4
レイヤ 3 インターフェイス 39-6
ロード バランシング 38-9, 38-20
論理インターフェイス、説明 38-4
EtherChannel ガード
イネーブル化 20-18
説明 20-10
ディセーブル化 20-18
EUI 40-5
Express Setup 1-3
『Getting Started Guide』も参照
Extended Universal Identifier
「EUI」を参照
Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2

F

Fa0 ポート
「イーサネット管理ポート、内部」を参照
fastethernet0 ポート
「イーサネット管理ポート、内部」を参照
Fast Uplink Transition Protocol 20-6

FIB 39-103
Flex Link
VLAN 21-3
VLAN ロード バランシングの設定 21-12
設定 21-10
設定時の注意事項 21-9
説明 21-2
デフォルト設定 21-9
モニタリング 21-15
優先 VLAN の設定 21-13
リンク ロード バランシング 21-3
Flex Link 上での VLAN ロード バランシング
設定時の注意事項 21-9
説明 21-3
Flex Link マルチキャスト高速コンバージェンス 21-3
flowcontrol
設定 11-22
説明 11-21
FTP
MIB ファイルへのアクセス A-4
イメージ ファイル
アップロード B-35
サーバの準備 B-31
ダウンロード B-32
古いイメージの削除 B-34
コンフィギュレーション ファイル
アップロード B-16
概要 B-13
サーバの準備 B-14
ダウンロード B-15

G

get-bulk-request 動作 33-3
get-next-request 動作 33-3, 33-5
get-request 動作 33-3, 33-4, 33-5
get-response 動作 33-4
GUI
「デバイス マネージャおよび Network Assistant」を参照

H

Hello タイム
MSTP 19-24
STP 18-23
Hot 41-1
HP OpenView 1-6
HSRP
ICMP リダイレクト メッセージのサポート 41-12
オブジェクト トラッキング 43-7
概要 41-1
コマンド スイッチの冗長性 1-2, 1-8
スイッチ スタックに関する考慮事項 41-5
設定 41-5
タイマー 41-11
注意事項 41-6
定義 41-1
デフォルト設定 41-6
トラッキング 41-8
認証ストリング 41-11
プライオリティ 41-8
モニタリング 41-12
ルーティングの冗長性 1-14
HSRP for IPv6
設定 40-28
注意事項 40-27
HTTP over SSL
「HTTPS」を参照
HTTPS
自己署名証明書 6-52
設定 6-54
説明 6-51

I

IBPG 39-54

ICMP
IPv6 40-5
time-exceeded メッセージ 48-13
traceroute 48-13
サポート 1-15
到達不能メッセージ 35-21
到達不能メッセージおよび ACL 35-22
到達不能メッセージおよび IPv6 36-5
リダイレクト メッセージ 39-14
ICMP PING
概要 48-10
実行 48-10
ICMP Router Discovery Protocol
「IRDP」を参照
ICMPv6 40-5
ICMP エコー動作
IP SLA 42-11
設定 42-11
IDS アプライアンス
入力 RSPAN 30-25
入力 SPAN 30-16
IEEE 802.1D
「STP」を参照
IEEE 802.1p 15-1
IEEE 802.1Q
カプセル化 13-15
設定時の制限事項 13-17
タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 13-23
トランク ポート 11-3
トンネリング
説明 17-1
他の機能との互換性 17-6
デフォルト 17-4
トンネル ポートでサポートするその他の機能 17-6
IEEE 802.1s
「MSTP」を参照
IEEE 802.1w
「RSTP」を参照
IEEE 802.1x
「ポートベース認証」を参照
IEEE 802.1x による許可ポート 9-11
IEEE 802.1x による無許可ポート 9-11
IEEE 802.3ad
「EtherChannel」を参照
IEEE 802.3x フロー制御 11-21
ifIndex 値、SNMP 33-6
IFS 1-7
IGMP
Join メッセージ 24-3
概要 45-3
キャッシュ エントリの削除 45-69
クエリー 24-4
グループの表示 45-69
グループへのアクセスの制御 45-46
高速スイッチング 45-50
サポート 1-4
サポートされるバージョン 24-3
スイッチの設定
グループのメンバーとして 45-45
スタティックに接続されたメンバー 45-49
設定可能な Leave タイマー
イネーブル化 24-12
説明 24-6
脱退処理、イネーブル化 24-11, 25-10
デフォルト設定 45-45
バージョン 1
説明 45-3
バージョン 2 への変更 45-47
バージョン 2
クエリー タイムアウト値 45-48
グループのプルーニング 45-49
最大クエリー応答時間 45-49
説明 45-4
バージョン 1 への変更 45-47
フラッディング マルチキャスト トラフィック
インターフェイス上でのディセーブル化 24-14
クエリー要求 24-13

グローバル脱退 24-13
時間の長さの制御 24-13
フラッド モードからの回復 24-13
ホストクエリー インターバル、変更 45-47
マルチキャスト グループからの脱退 24-5
マルチキャスト グループへの加入 24-3
マルチキャストの到達可能性 45-45
レポート抑制
説明 24-6
ディセーブル化 24-16, 25-12
IGMP グループ
最大数の設定 24-28
フィルタリングの設定 24-29
IGMP スヌーピング
VLAN 設定 24-8
アドレス エイリアス 24-2
イネーブル化およびディセーブル化 24-8, 25-7
クエリア
設定 24-15
設定時の注意事項 24-15
グローバル コンフィギュレーション 24-8
サポート 1-5
サポートされるバージョン 24-3
スイッチ スタック内 24-7
スタックの変更 24-7
設定 24-7
即時脱退 24-6
定義 24-2
デフォルト設定 24-7, 25-6, 25-7
方式 24-9
モニタリング 24-17, 25-13
IGMP スロットリング
処理の表示 24-30
設定 24-29
説明 24-26
デフォルト設定 24-26
IGMP 即時脱退
イネーブル化 24-11
設定時の注意事項 24-12
説明 24-6
IGMP フィルタリング
サポート 1-5
設定 24-27
説明 24-25
デフォルト設定 24-26
モニタリング 24-31
IGMP プロファイル
コンフィギュレーション モード 24-27
設定 24-27
適用 24-28
IGMP ヘルパー 45-7
IGP 39-33
interfaces range macro コマンド 11-13
interface コマンド 11-9 ～ 11-10
IP ACL
QoS 分類用 37-8
暗黙の拒否 35-10, 35-15
名前付き 35-15
未定義 35-22
無視マスク 35-10
ip cef distributed コマンド 39-103
ip igmp profile コマンド 24-27
IP Phone
QoS 15-1
QoS によるポート セキュリティの確保 37-45
QoS の信頼境界 37-45
自動分類およびキューイング 37-21
設定 15-4
IP precedence 37-2
IP precedence/DSCP マップ、QoS 用 37-77
IP SLA
ICMP エコー動作 42-11
SNMP のサポート 42-2
UDP ジッタ動作 42-8
応答側
イネーブル化 42-7
説明 42-4
応答時間 42-4

オブジェクト トラッキング 43-9
オブジェクト トラッキングの設定 43-9
コントロール プロトコル 42-4
サポートされるメトリック 42-2
しきい値モニタリング 42-6
スケジューリング 42-5
設定時の注意事項 42-6
定義 42-1
デフォルト設定 42-6
動作 42-3
到達可能性のトラッキング 43-9
トラック ステート 43-9
ネットワーク パフォーマンスの測定 42-3
モニタリング 42-13
利点 42-2
IP traceroute
概要 48-13
実行 48-14
IPv4 ACL
インターフェイスへの適用 35-20
拡張、作成 35-11
名前付き 35-15
標準、作成 35-10
IPv6
ACL
一致条件 36-4
制限事項 36-3
表示 36-10
ポート 36-2
優先 36-3
ルータ 36-2
CEFv6 40-22
Default Router Preference（DRP） 40-6
Enhanced Interior Gateway Routing Protocol（EIGRP）IPv6 40-8
EIGRP IPv6 コマン 40-9
ルータ ID 40-9
ICMP 40-5
OSPF 40-8
Path MTU Discovery 40-5
SDM テンプレート 8-2, 25-1, 36-1
アドレス 40-3
アドレス形式 40-3
アドレスの割り当て 40-13
アプリケーション 40-6
機能の制限事項 40-11
近接ディスカバリ 40-6
サポートされない機能 40-10
サポートされる機能 40-4
自動設定 40-6
スイッチ スタック 40-11
スイッチの制限事項 40-11
スタック マスター機能 40-12
スタティック ルートの概要 40-8
スタティック ルートの設定 40-23
定義 40-1, 40-3
デフォルト設定 40-13
転送 40-13
モニタリング 40-30
IPv6 トラフィック、フィルタリング 36-5
IP アドレス
128 ビット 40-3
IPv6 40-3
IP ルーティング用 39-7
MAC アドレスの関連付け 39-11
クラス 39-8
検出 5-32
デフォルト設定 39-7
モニタリング 39-20
IP サービスのフィーチャ セット 1-2
IP サービス レベル契約
「IP SLA」を参照
IP サービス レベル、分析 42-1
IP 指定ブロードキャスト 39-16
IP 情報
デフォルト設定 3-3
割り当て
DHCP ベースの自動設定による 3-4

手動による 3-17
IP ソース ガード
DHCP スヌーピング 22-17
EtherChannel 22-19
IEEE 802.1x 22-19
TCAM エントリ 22-20
VRF 22-19
イネーブル化 22-20, 22-21
スタティック バインディング
削除 22-21
追加 22-20, 22-21
スタティック ホスト 22-21
設定時の注意事項 22-19
説明 22-17
送信元 IP アドレス フィルタリング 22-17
送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング 22-17
ディセーブル化 22-21
デフォルト設定 22-19
トランク インターフェイス 22-19
バインディング設定
自動 22-17
手動 22-17
バインディング テーブル 22-17
表示
設定 22-27
バインディング 22-27
フィルタリング
送信元 IP アドレス 22-17
送信元 IP および MAC アドレス 22-17
プライベート VLAN 22-19
ポート セキュリティ 22-19
ルーテッド ポート 22-19
IP ブロードキャスト アドレス 39-18
IP プロトコル
ACL 内 35-12
ルーティング 1-14
IP プロトコル、ACL 内 35-12
IP ベースのフィーチャ セット 1-2
IP マルチキャスト ルーティング
IGMP スヌーピング 24-2
MBONE
sdr キャッシュ エントリの削除 45-69
sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 45-52
sdr キャッシュの表示 45-70
sdr リスナー サポートのイネーブル化 45-52
Session Directory（sdr）ツール、説明 45-51
アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 45-64
会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 45-52
説明 45-51
PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 45-12
RP
PIMv2 BSR の設定 45-35
自動 RP および BSR の使用 45-39
自動 RP の設定 45-31
手動での割り当て 45-30
マッピング情報のモニタリング 45-40
アドレス
すべてのホスト 45-3
すべてのマルチキャスト ルータ 45-3
ホスト グループ アドレス範囲 45-3
イネーブル化
PIM モード 45-15
マルチキャスト転送 45-14
管理の有効範囲付き境界、説明 45-53
グループ /RP マッピング
BSR 45-8
自動 RP 45-7
シスコの実装 45-2
自動 RP
BSR による使用方法 45-39
概要 45-7
既存の希薄モード クラウドへの追加 45-32
キャッシュのクリア 45-69
候補 RP スプーフィングの禁止 45-34
新規インターネットワークでの設定 45-32

設定時の注意事項 45-13
着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 45-34
問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 45-34
利点 45-31
スタック
スタック マスター機能 45-11
スタック メンバー機能 45-11
設定
IP マルチキャスト境界 45-53
基本的なマルチキャスト ルーティング 45-14
デフォルト設定 45-12
統計情報の表示、システムおよびネットワークの 45-69
ブートストラップ ルータ
IP マルチキャスト境界の定義 45-37
PIM ドメイン境界の定義 45-36
概要 45-8
候補 BSR の設定 45-37
候補 RP の設定 45-38
自動 RP による使用方法 45-39
設定時の注意事項 45-13
プロトコルの相互動作 45-2
マルチキャスト転送、説明 45-9
モニタリング
パケット速度および損失情報 45-70
パスのトレース 45-70
ピアリング デバイス 45-70
リバース パス チェック（RPF） 45-9
ルーティング テーブル
削除 45-69
表示 45-69
「CGMP」も参照
「DVMRP」も参照
「IGMP」も参照
「PIM」も参照
IP ユニキャスト ルーティング
ARP 39-11
EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 39-6
IGP 39-33
IPv6 40-4
IP アドレス指定
クラス 39-8
設定 39-7
IRDP 39-15
MAC アドレスおよび IP アドレス 39-11
SVI による 39-6
UDP 39-18
VLAN 間 39-3
アドレス解決 39-11
イネーブル化 39-21
管理距離 39-106, 39-117
逆アドレス解決 39-11
クラスレス ルーティング 39-9
再配信 39-107
サブネット ゼロ 39-9
サブネット マスク 39-8
指定ブロードキャスト 39-16
受動インターフェイス 39-116
スーパーネット 39-9
スタティック ルーティング 39-4
スタティック ルートの設定 39-105
設定手順 39-6
ダイナミック ルーティング 39-4
ディセーブル化 39-22
デフォルト
アドレス指定の設定 39-7
ゲートウェイ 39-14
ネットワーク 39-106
ルーティング 39-4
ルート 39-106
認証鍵 39-118
ブロードキャスト
アドレス 39-18
ストーム 39-16
パケット 39-16
フラッディング 39-19
プロキシ ARP 39-11

プロトコル
ダイナミック 39-4
ディスタンスベクトル 39-4
リンクステート 39-4
ユニキャスト Reverse Path Forwarding 1-16, 39-102
ルーテッド ポート 39-6
レイヤ 3 インターフェイス 39-6
レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 39-8
「BGP」も参照
「EIGRP」も参照
「OSPF」も参照
「RIP」も参照
IP ルーティング
イネーブル化 39-21
インターフェイスの接続 11-8
ディセーブル化 39-22
IP ルート、モニタリング 39-120
IRDP
サポート 1-15
設定 39-15
定義 39-15
IS-IS
show コマンド 39-86
アドレス 39-76
エリア ルーティング 39-76
システム ルーティング 39-76
デフォルト設定 39-78
モニタリング 39-86
ISO CLNS
clear コマンド 39-86
NET 39-76
NSAP 39-76
OSI 標準 39-76
ダイナミック ルーティング プロトコル 39-76
モニタリング 39-86
ISO IGRP
エリア ルーティング 39-76
システム ルーティング 39-76

J

Join メッセージ、IGMP 24-3

K

KDC
説明 6-41
「Kerberos」も参照
Kerberos
KDC 6-41
TGT 6-43
暗号化ソフトウェア イメージ 6-40
サーバ 6-42
サポート 1-12
証明書 6-41
信頼できるサードパーティとしてのスイッチ 6-41
設定 6-44
設定例 6-41
説明 6-41
チケット 6-41
動作 6-43
認証の取得
KDC 6-43
境界スイッチ 6-43
ネットワーク サービス 6-44
用語 6-42
レルム 6-42

L

l2protocol-tunnel コマンド 17-13
LACP
「EtherChannel」を参照
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-10
LDAP 4-2

LED、スイッチ
「ハードウェア インストレーション ガイド」を参照
Lightweight Directory Access Protocol
「LDAP」を参照
Link Aggregation Control Protocol
「EtherChannel」を参照 38-7
Link Layer Discovery Protocol
「CDP」を参照
Link State Advertisement（LSA） 39-41
LLDP
イネーブル化 28-5
概要 28-1
サポートされる TLV 28-2
スイッチ スタックに関する考慮事項 28-2
設定 28-4
デフォルト設定 28-4
特性 28-6
送信タイマーおよびホールドタイム、設定 28-6
モニタリングおよびメンテナンス 28-10
LLDP-MED
概要 28-1, 28-2
サポートされる TLV 28-2
設定
TLV 28-7
手順 28-4
モニタリングおよびメンテナンス 28-10
LLDP Media Endpoint Discovery
「LLDP-MED」を参照
Long-Reach Ethernet（LRE）テクノロジー 1-21

M

MAC 3-18
MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス TLV 28-2
MAC アドレス
ACL 内 35-28
IP アドレスの関連付け 39-11
IP 送信元バインディング テーブルでの表示 22-27
VLAN アソシエーション 5-21
VLAN での学習のディセーブル化 5-31
アドレス テーブルの作成 5-21
エージング タイム 5-22
検出 5-32
手動での IP アドレスの割り当て 3-18
スタティック
許可 5-30, 5-31
削除 5-29
追加 5-29
特性 5-28
ドロップ 5-30
ダイナミック
学習 5-21
削除 5-23
デフォルト設定 5-22
表示 5-32
MAC アドレス学習 1-6
MAC アドレス学習、VLAN でのディセーブル化 5-31
MAC アドレス通知、サポート 1-16
MAC アドレス テーブル移動更新
設定 21-13
設定時の注意事項 21-9
説明 21-7
デフォルト設定 21-9
モニタリング 21-15
MAC アドレスと VLAN のマッピング 13-27
MAC 拡張アクセス リスト
QoS 分類用 37-5
QoS 用の設定 37-54
作成 35-28
定義 35-28
レイヤ 2 インターフェイスへの適用 35-30
MAC 認証バイパス 9-16
maximum-paths コマンド 39-63, 39-104
MDA
設定時の注意事項 9-31 ～ 9-32
説明 1-11, 9-31
認証プロセスでの例外 9-4

MHSRP 41-4
MIB
FTP によるファイルへのアクセス A-4
SNMP の相互作用 33-4
概要 33-1
サポート対象 A-1
ファイルの場所 A-4
mrouter ポート 21-3, 21-5
MSDP
dense（稠密）モード領域
SA メッセージの送信 46-18
発信元アドレスの指定 46-19
MSDP 接続および統計情報のクリア 46-20
Source-Active メッセージ
TTL によるデータの制限 46-14
アドバタイズする送信元の制限 46-9
キャッシュ エントリのクリア 46-20
キャッシング 46-7
着信のフィルタリング 46-15
定義 46-2
ピアからのフィルタリング 46-11
ピアへのフィルタリング 46-13
モニタリング 46-20
概要 46-1
加入遅延、定義 46-7
サポート 1-15
送信元情報の制御
スイッチから転送される 46-12
スイッチから発信される 46-9
スイッチで受信する 46-15
デフォルト設定 46-4
発信元アドレス、変更 46-19
ピア
シャットダウン 46-17
送信元情報の要求 46-8
デフォルトの設定 46-4
ピアリング関係、概要 46-1
モニタリング 46-19
ピア RPF フラッディング 46-2
フィルタリング
着信 SA メッセージ 46-15
ピアからの SA 要求 46-11
ピアへの SA メッセージ 46-13
メッシュ グループ
設定 46-17
定義 46-17
利点 46-3
MSTP
BPDU ガード
イネーブル化 20-14
説明 20-2
BPDU フィルタリング
イネーブル化 20-15
説明 20-3
CIST、説明 19-3
CIST リージョナル ルート 19-3, 19-5
CIST ルート 19-5
CST
定義 19-3
領域間での動作 19-4
EtherChannel ガード
イネーブル化 20-18
説明 20-10
IEEE 802.1D との相互運用性
移行プロセスの再起動 19-28
説明 19-9
IEEE 802.1s
実装 19-6
ポートの役割名の変更 19-7
用語 19-5
IST
定義 19-3
マスター 19-3
領域内での動作 19-3
MST 領域
CIST 19-3
IST 19-3

サポートされるスパニング ツリー インスタンス 19-2
設定 19-18
説明 19-2
ホップ カウント メカニズム 19-5
PortFast
イネーブル化 20-13
説明 20-2
PortFast 対応ポートのシャットダウン 20-2
VLAN と MST インスタンスのマッピング 19-18
インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 20-2
オプション機能のデフォルト設定 20-12
概要 19-2
拡張システム ID
異常動作 19-20
セカンダリ ルート スイッチへの影響 19-21
ルート スイッチへの影響 19-19
境界ポート
設定時の注意事項 19-17
説明 19-6
サポートされるインスタンス 18-11
サポートされるオプション機能 1-8
スタックの変更、作用 19-8
ステータスの表示 19-28
ステータス、表示 19-28
設定
Hello タイム 19-24
MST 領域 19-18
高速コンバージェンス用リンク タイプ 19-27
最大エージング タイム 19-26
最大ホップ カウント 19-26
スイッチ プライオリティ 19-24
セカンダリ ルート スイッチ 19-21
転送遅延時間 19-25
ネイバー タイプ 19-27
パス コスト 19-23
ポート プライオリティ 19-21
ルート スイッチ 19-19
設定時の注意事項 19-16, 20-12
デフォルト設定 19-16
モード間の相互運用性と互換性 18-12
モードのイネーブル化 19-18
ルート ガード
イネーブル化 20-18
説明 20-10
ルート スイッチ
異常動作 19-20
拡張システム ID の作用 19-19
設定 19-19
ルート スイッチ選択の禁止 20-10
ループ ガード
イネーブル化 20-19
説明 20-11
MTU
システム 11-27
システム ジャンボ 11-27
システム ルーティング 11-27
Multicast Source Discovery Protocol
「MSDP」を参照
Multiple HSRP
「MHSRP」を参照
Multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイス内
「マルチ VRF CE」を参照
Multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイス内の
「マルチ VRF CE」を参照
MVR
IGMPv3 24-22
アドレス エイリアス 24-22
アプリケーション例 24-20
インターフェイスの設定 24-23
グローバル パラメータの設定 24-22
サポート 1-5
スイッチ スタック内 24-21
設定時の注意事項 24-22
説明 24-18

デフォルト設定 24-21
マルチキャスト TV アプリケーション 24-20
モード 24-23
モニタリング 24-25

N

NAC
AAA ダウン ポリシー 1-12
RADIUS サーバを使用する IEEE 802.1x 検証 9-61
RADIUS サーバを使用する IEEE 802.1x 認証 9-61
アクセス不能認証バイパス 1-12, 9-56
クリティカル認証 9-24, 9-56
レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 1-12, 9-61
レイヤ 2 IP 検証 1-12
NameSpace Mapper
「NSM」を参照
NEAT
概要 9-33
設定 9-62
Network Admission Control
「NAC」を参照
Network Assistant
イメージ ファイルのダウンロード 1-3
ウィザード 1-3
ガイド モード 1-3
管理オプション 1-3
スイッチ スタックの管理 7-2, 7-19
スイッチのアップグレード B-25
説明 1-5
利点 1-3
Network Edge Access Topology
「NEAT」を参照
no switchport コマンド 11-4
Not-So-Stubby Area
「NSSA」を参照
no コマンド 2-4
NSAP、ISO IGRP アドレスとして 39-76
NSF 認識
IS-IS 39-79
NSM 4-3
NSSA、OSPF 39-41
NTP
アクセスの制限
アクセス グループの作成 5-9
インターフェイス単位での NTP サービスのディセーブル化 5-10
アソシエーション
サーバ 5-5
定義 5-2
認証 5-4
ピア 5-5
ブロードキャスト メッセージのイネーブル化 5-7
概要 5-2
サポート 1-7
時刻
サービス 5-3
同期化 5-2
ストラタム 5-2
設定の表示 5-11
送信元 IP アドレス、設定 5-10
デバイスの同期化 5-5
デフォルト設定 5-4

O

OBFL
設定 48-22
説明 48-21
表示 48-22
On-Board Failure Logging
「OBFL」を参照
open1x
設定 9-67
open1x 認証
概要 9-31
Open Shortest Path First

「OSPF」を参照
OSPF
IPv6 用 40-8
LSA グループ同期 39-44
インターフェイス パラメータ、設定 39-39
エリア パラメータ、設定 39-41
仮想リンク 39-42
サポート 1-14
設定 39-38
説明 39-33
デフォルト設定
設定 39-35
メトリック 39-42
ルート 39-42
モニタリング 39-45
ルータ ID 39-44
ルート サマライズ 39-42

P

PAgP
「EtherChannel」を参照
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-10
Path MTU Discovery 40-5
PBR
イネーブル化 39-114
定義 39-111
ポリシーベース ルーティングの高速スイッチング 39-115
ローカル ポリシーベース ルーティング 39-115
PE/CE ルーティング、設定 39-97
Per-VLAN Spanning-Tree Plus
「PVST+」を参照
PIM
dense（稠密）モード
RPF 参照 45-9
概要 45-5
ランデブー ポイント（RP）、説明 45-5
Shortest Path Tree、使用の延期 45-42
概要 45-4
希薄モード
Join メッセージおよび共有ツリー 45-5
Prune メッセージ 45-5
RPF 参照 45-10
概要 45-5
共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 45-41
サポート 1-15
スタブ ルーティング
イネーブル化 39-30, 45-28
概要 39-29, 45-5
設定時の注意事項 39-30
デフォルト設定 45-12
ネイバーの表示 45-70
バージョン
v2 改善点 45-4
相互運用性 45-12
相互運用性の問題に関するトラブルシューティング 45-40
モードのイネーブル化 45-15
ルータクエリー メッセージ インターバル、変更 45-43
PIM-DVMRP、スヌーピング方式として 24-9
PING
概要 48-10
実行 48-10
文字出力の説明 48-11
PortFast
イネーブル化 20-13
サポート 1-8
説明 20-2
モード、スパニング ツリー 13-29
Protocol-Independent Multicast Protocol
「PIM」を参照
PVST+
IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 18-12
サポートされるインスタンス 18-11
説明 18-11

Q

QoS
- IP Phone
  - 検出および信頼設定 37-21, 37-45
  - 自動分類およびキューイング 37-21
- MQC コマンド 37-1
- QoS ラベル、定義 37-4
- 暗黙の拒否 37-8
- 概要 37-2
- 書き換え 37-21
- 基本モデル 37-4
- キュー
  - SRR、説明 37-15
  - WTD、説明 37-14
  - 出力の特性の設定 37-86
  - 入力の特性の設定 37-82
  - ハイ プライオリティ（緊急） 37-20, 37-93
  - 場所 37-14
- クラス マップ
  - 設定 37-55
  - 表示 37-94
- グローバルにイネーブル化 37-41
- サポート 1-13
- 自動 QoS
  - 実行コンフィギュレーションへの影響 37-32
  - 初期設定の表示 37-35
  - 生成されたコマンドの表示 37-34
  - 生成されたコマンドのリスト 37-25
  - 設定およびデフォルト表示 37-35
  - 設定時の注意事項 37-32
  - 説明 37-21
  - ディセーブル化 37-34
  - トラフィックの分類 37-22
- 出力インターフェイスの帯域幅の制限 37-93
- 出力キュー
  - DSCP 値または CoS 値のマッピング 37-89
  - SRR の共有重みの設定 37-92
  - SRR のシェーピング重みの設定 37-91
  - WTD しきい値の設定 37-87
  - WTD、説明 37-20
  - しきい値マップの表示 37-90
  - スケジューリング、説明 37-4
  - 説明 37-4
  - バッファ スペースの割り当て 37-87
  - バッファ割り当て方式、説明 37-19
  - フローチャート 37-18
- 信頼状態
  - 信頼できるデバイス 37-45
  - 説明 37-5
  - ドメイン内 37-42
  - 別のドメインとの境界における 37-47
- 設定
  - DSCP マップ 37-76
  - IP 拡張 ACL 37-51
  - IP 標準 ACL 37-50
  - MAC ACL 37-54
  - 自動 QoS 37-21
  - 集約ポリサー 37-74
  - 出力キューの特性 37-86
  - 信頼境界 37-45
  - デフォルトのポート CoS 値 37-44
  - 透過的な DSCP 37-46
  - ドメイン内のポート信頼状態 37-42
  - 入力キューの特性 37-82
  - 物理ポート上のポリシー マップ 37-61
  - 別のドメインとの境界における DSCP 信頼状態 37-47
  - ポリシー マップ、階層型 37-66
- 設定時の注意事項
  - 自動 QoS 37-32
  - 標準 QoS 37-38
- デフォルトの自動設定 37-22
- デフォルトの標準設定 37-36
- 透過的な DSCP 37-46
- 統計情報の表示 37-94
- 入力キュー
  - DSCP 値または CoS 値のマッピング 37-83

SRR の共有重みの設定 37-85
WTD しきい値の設定 37-83
WTD、説明 37-17
しきい値マップの表示 37-83
スケジューリング、説明 37-4
説明 37-4
帯域幅の割り当て 37-85
バッファおよび帯域幅割り当て、説明 37-17
バッファ スペースの割り当て 37-84
プライオリティ キュー、説明 37-17
プライオリティ キューの設定 37-85
フローチャート 37-16
パケットの変更 37-21
フローチャート
出力キューイングおよびスケジューリング 37-18
入力キューイングおよびスケジューリング 37-16
分類 37-7
ポリシングおよびマーキング 37-11
分類
IP ACL、説明 37-6, 37-8
IP トラフィックのオプション 37-6
MAC ACL、説明 37-5, 37-8
クラス マップ、説明 37-8
信頼する CoS、説明 37-5
信頼する DSCP、説明 37-5
信頼する IP precedence、説明 37-5
定義 37-4
転送処理 37-3
透過的な DSCP、説明 37-46
非 IP トラフィックのオプション 37-5
フレーム内およびパケット内 37-3
フローチャート 37-7
ポリシー マップ、説明 37-8
ポリサー
数 37-39
設定 37-64, 37-70, 37-74
説明 37-9
タイプ 37-10
表示 37-94
ポリシー、インターフェイスへの付加 37-10
ポリシー マップ
SVI 上の階層型の 37-66
階層型 37-9
特性 37-61
表示 37-95
物理ポート上の非階層型の 37-61
ポリシング
説明 37-4, 37-9
トークン バケット アルゴリズム 37-10
マーキング、説明 37-4, 37-9
マークダウン アクション 37-64, 37-70
マッピング テーブル
CoS/DSCP 37-76
DSCP/CoS 37-79
DSCP/DSCP 変換 37-80
IP precedence/DSCP 37-77
タイプ 37-13
表示 37-95
ポリシング済み DSCP 37-78
Quality of Service
「QoS」を参照

R

RADIUS
AAA サーバ グループの定義 6-32
アトリビュート
ベンダー固有の 6-36
ベンダー独自仕様の 6-38
概要 6-18
サーバの識別 6-28
サーバ ロード バランシング 6-40
サポート 1-12
推奨されるネットワーク環境 6-18
設定
アカウンティング 6-35

許可 6-34
通信、グローバル 6-28, 6-36
通信、サーバ単位 6-28
認証 6-30
複数の UDP ポート 6-28
設定の表示 6-40
デフォルト設定 6-27
動作 6-19
方式リスト、定義 6-27
ユーザがアクセスしたサービスのトラッキング 6-35
ユーザへのサービスの制限 6-34
RADIUS Change of Authorization 6-20
Rapid Per-VLAN Spanning-Tree Plus
「Rapid PVST+」を参照
Rapid PVST+
IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 18-12
サポートされるインスタンス 18-11
説明 18-11
RARP 39-11
RCP
イメージ ファイル
アップロード B-40
サーバの準備 B-36
ダウンロード B-38
古いイメージの削除 B-40
コンフィギュレーション ファイル
アップロード B-19
概要 B-17
サーバの準備 B-17
ダウンロード B-18
Remote Authentication Dial-In User Service
「RADIUS」を参照
Remote Network Monitoring
「RMON」を参照
RFC
1112、IP マルチキャストおよび IGMP 24-2
1157、SNMPv1 33-2
1166、IP アドレス 39-8
1305、NTP 5-2
1587、NSSA 39-34
1757、RMON 31-2
1901、SNMPv2C 33-2
1902 ～ 1907、SNMPv2 33-2
2236、IP マルチキャストおよび IGMP 24-2
2273 ～ 2275、SNMPv3 33-2
RFC 5176 への準拠 6-21
RIP
IPv6 用 40-8
アドバタイズメント 39-23
サポート 1-14
サマリー アドレス 39-26
スプリット ホライズン 39-26
設定 39-24
説明 39-23
デフォルト設定 39-23
認証 39-26
ホップ カウント 39-23
RMON
アラームおよびイベントのイネーブル化 31-3
概要 31-1
サポート 1-16
サポートされるグループ 31-2
ステータスの表示 31-6
デフォルト設定 31-3
統計情報
グループ履歴の収集 31-5
収集、イーサネット グループの 31-6
route-map コマンド 39-114
Routing Information Protocol
「RIP」を参照
RSPAN 30-3
VLAN ベース 30-7
宛先ポート 30-8
概要 1-16, 30-1
監視対象ポート 30-7
受信トラフィック 30-6
スイッチ スタック内 30-2

スタックの変更 30-11
ステータスの表示 30-31
セッション
イネーブルに設定された入力トラフィック 30-25
監視対象ポートの指定 30-20
作成 30-20
送信元トラフィックを特定の VLAN に制限する 30-22
定義 30-4
セッション制限 30-13
設定時の注意事項 30-19
送信トラフィック 30-6
送信元ポート 30-7
他の機能との相互作用 30-9
デフォルト設定 30-12
特性 30-9
モニタリング ポート 30-8
RSTP
BPDU
処理 19-14
フォーマット 19-13
IEEE 802.1D との相互運用性
移行プロセスの再起動 19-28
説明 19-9
トポロジの変更 19-14
「MSTP」も参照
アクティブ トポロジ 19-10
概要 19-9
高速コンバージェンス
エッジ ポートおよび PortFast 19-10
クロススタック高速コンバージェンス 19-11
説明 19-10
ポイントツーポイント リンク 19-11, 19-27
ルート ポート 19-10
指定スイッチ、定義 19-9
指定ポート、定義 19-9
提案 / 合意ハンドシェイク プロセス 19-11
ポートの役割
説明 19-9
同期化 19-12
ルート ポート、定義 19-9

S

SDM
スイッチ スタックに関する考慮事項 7-12
説明 8-1
テンプレート
数 8-1
設定 8-5
SDM テンプレート
設定 8-4
タイプ 8-1
デュアル IPv4 および IPv6 8-2
Secure Socket Layer
「SSL」を参照
set-request 動作 33-5
show access-lists hw-summary コマンド 35-22
show cdp traffic コマンド 27-5
show configuration コマンド 11-24
show forward コマンド 48-18
show interfaces switchport 21-4
show interfaces コマンド 11-21, 11-24
show l2protocol コマンド 17-14, 17-16, 17-17
show lldp traffic コマンド 28-11
show platform forward コマンド 48-18
show running-config コマンド
ACL の表示 35-20, 35-21, 35-33, 35-35
インターフェイスの説明 11-24
show コマンドおよび more コマンドの出力、フィルタリング 2-10
SmartPort マクロ
グローバル パラメータ値の適用 12-5, 12-6
作成 12-4
シスコのデフォルト マクロの適用 12-6
設定時の注意事項 12-3
定義 12-1

デフォルト設定 12-2
トレース 12-3
パラメータ値の適用 12-5, 12-6
表示 12-7
マクロの適用 12-5
SNAP 27-1
SNMP
CPU しきい値通知の設定 33-17
ifIndex 値 33-6
IP SLA 42-2
MIB
サポート対象 A-1
場所 A-4
MIB 変数へのアクセス 33-4
NMS へのシステム ログ メッセージの制限 32-10
TFTP サーバからのアクセスの制限 33-18
インバンド管理 1-7
エージェント
説明 33-4
ディセーブル化 33-8
エンジン ID 33-7
概要 33-1, 33-4
グループ 33-7, 33-10
コミュニティ ストリング
概要 33-4
設定 33-8
サポートされるバージョン 33-2
システム コンタクトおよびロケーション 33-17
ステータス、表示 33-20
セキュリティ レベル 33-3
設定例 33-19
通知 33-5
trap キーワード 33-13
イネーブル化 33-16
説明 33-5
ディセーブル化 33-16
トラップとの違い 33-5
デフォルト設定 33-7
トラップ
MACアドレス通知のイネーブル化 5-23, 5-25, 5-27
イネーブル化 33-13
概要 33-1, 33-5
説明 33-4, 33-5
タイプ 33-13
通知との違い 33-5
ディセーブル化 33-16
トラップ マネージャ、設定 33-15
認証レベル 33-11
ホスト 33-7
マネージャ機能 1-6, 33-3
ユーザ 33-7, 33-10
SNMPv1 33-2
SNMPv2C 33-2
SNMPv3 33-3
SNMP および Syslog、IPv6 経由の 40-9
Source-Specific Multicast
「SSM」を参照
SPAN
VLAN ベース 30-7
宛先ポート 30-8
概要 1-16, 30-1
監視対象ポート 30-7
受信トラフィック 30-6
スタックの変更 30-11
ステータスの表示 30-31
セッション
宛先（モニタリング）ポートの削除 30-15
イネーブルに設定された入力トラフィック 30-16
監視対象ポートの指定 30-13, 30-27
作成 30-13, 30-27
送信元トラフィックを特定の VLAN に制限する 30-18
定義 30-4
入力転送の設定 30-17, 30-26
セッション制限 30-13
設定時の注意事項 30-13
送信トラフィック 30-6

送信元ポート 30-7
他の機能との相互作用 30-9
デフォルト設定 30-12
ポート、制約事項 26-13
モニタリング ポート 30-8
SPAN トラフィック 30-6
SRR
共有モード 37-15
サポート 1-14
シェーピング モード 37-15
設定
出力キュー上の共有重み 37-92
出力キュー上のシェーピング重み 37-91
入力キュー上の共有重み 37-85
説明 37-15
SSH
暗号化方式 6-47
スイッチ スタックに関する考慮事項 6-47, 7-19
設定 6-48
説明 1-7, 6-46
ユーザ認証方式、サポート対象の 6-47
SSL
暗号化ソフトウェア イメージ 6-51
セキュア HTTP クライアントの設定 6-56
セキュア HTTP サーバの設定 6-54
設定時の注意事項 6-53
説明 6-51
モニタリング 6-57
SSM
CGMP の制限事項 45-18, 45-27
IGMPv3 45-16, 45-25
IGMPv3 ホスト シグナリング 45-17, 45-26
IGMP スヌーピング 45-18, 45-27
Internet Standard Multicast との違い 45-16, 45-25
IP アドレス範囲 45-16, 45-26
PIM 45-16, 45-25
アドレス管理の制約事項 45-18, 45-27
コンポーネント 45-16, 45-25
ステート メンテナンスの制限事項 45-18, 45-27
設定 45-15, 45-18, 45-25, 45-27
設定時の注意事項 45-17, 45-26
動作 45-17, 45-26
モニタリング 45-18, 45-27
SSM マッピング 45-19
DNS ベース 45-21, 45-23
概要 45-20
スタティック 45-20, 45-22
スタティック トラフィック転送 45-23
制約事項 45-20
設定 45-19, 45-22
設定時の注意事項 45-19
モニタリング 45-24
StackWise Plus テクノロジー、シスコ 1-3
「スタック、スイッチ」も参照
standby ip コマンド 41-7
STP
BackboneFast
イネーブル化 20-17
説明 20-7
ディセーブル化 20-17
BPDU ガード
イネーブル化 20-14
説明 20-2
ディセーブル化 20-15
BPDU フィルタリング
イネーブル化 20-15
説明 20-3
ディセーブル化 20-16
BPDU メッセージ交換 18-3
EtherChannel ガード
イネーブル化 20-18
説明 20-10
ディセーブル化 20-18
IEEE 802.1D およびブリッジ ID 18-5
IEEE 802.1D およびマルチキャスト アドレス 18-10
IEEE 802.1Q トランクに関する制限事項 18-12
IEEE 802.1t および VLAN ID 18-5

PortFast
イネーブル化 20-13
説明 20-2
PortFast 対応ポートのシャットダウン 20-2
UplinkFast
イネーブル化 20-16
説明 20-3
VLAN ブリッジ 18-13
インターフェイス ステート
概要 18-6
学習 18-8
ディセーブル 18-8
転送 18-7, 18-8
ブロッキング 18-7
リスニング 18-8
インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 20-2
オプション機能のデフォルト設定 20-12
下位 BPDU 18-3
概要 18-2
カウンタ、クリア 18-26
拡張システム ID
異常動作 18-18
概要 18-5
セカンダリ ルート スイッチへの影響 18-19
ルート スイッチへの影響 18-17
間接リンク障害の検出 20-8
キープアライブ メッセージ 18-3
クロススタック UplinkFast
イネーブル化 20-17
説明 20-5
サポートされるインスタンス 18-11
サポートされるオプション機能 1-8
サポートされる機能 1-8
サポートされるプロトコル 18-11
サポートされるモード 18-11
指定スイッチ、定義 18-4
指定ポート、定義 18-4
冗長接続 18-9
スイッチ スタックでのルート ポート選択 18-4
スタックの変更、作用 18-13
ステータスの表示 18-26
ステータス、表示 18-26
設定
Hello タイム 18-23
最大エージング タイム 18-25
スイッチ プライオリティ 18-22
スパニング ツリー モード 18-16
セカンダリ ルート スイッチ 18-19
転送遅延時間 18-24
伝送ホールド カウント 18-25
パス コスト 18-21
ポート プライオリティ 18-20
ルート スイッチ 18-17
設定時の注意事項 18-15, 20-12
タイマー、説明 18-23
ディセーブル化 18-17
デフォルト設定 18-14
パス コスト 13-26
ポート プライオリティ 13-25
マルチキャスト アドレス、作用 18-10
モード間の相互運用性と互換性 18-12
優位 BPDU 18-3
ルート ガード
イネーブル化 20-18
説明 20-10
ルート スイッチ
異常動作 18-18
拡張システム ID の作用 18-5, 18-17
設定 18-17
選択 18-4
ルート スイッチ選択の禁止 20-10
ルート ポート選択の高速化 20-4
ルート ポート、定義 18-4
ループ ガード
イネーブル化 20-19
説明 20-11
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-8

ロード シェアリング
概要 13-23
パス コストの使用 13-26
ポート プライオリティの使用 13-24
SunNet Manager 1-6
SVI
IP ユニキャスト ルーティング 39-6
VLAN 間のルーティング 13-2
VLAN の接続 11-7
定義 11-5
ルータ ACL 35-5
SVI 自動ステート除外
設定 11-26
定義 11-6
SVI リンク ステート 11-6
Switch Database Management
「SDM」を参照
switchport backup interface 21-4, 21-5
switchport block multicast コマンド 26-8
switchport block unicast コマンド 26-8
switchport mode dot1q-tunnel コマンド 17-7
switchport protected コマンド 26-7
switchport コマンド 11-18
Syslog
「システム メッセージ ロギング」を参照

T

TACACS+
アカウンティング、定義 6-11
概要 6-10
許可、定義 6-11
サーバの識別 6-13
サポート 1-12
設定
アカウンティング 6-17
許可 6-16
認証鍵 6-13
ログイン認証 6-14
設定の表示 6-17
デフォルト設定 6-13
動作 6-12
認証、定義 6-11
ユーザがアクセスしたサービスのトラッキング 6-17
ユーザへのサービスの制限 6-16
tar ファイル
イメージ ファイル形式 B-26
作成 B-7
抽出 B-8
内容の表示 B-7
TCL スクリプト、組み込みイベントマネージャによる登録および定義 34-7
TDR 1-16
Telnet
管理インターフェイスへのアクセス 2-11
接続数 1-7
パスワードの設定 6-6
Terminal Access Controller Access Control System Plus
「TACACS+」を参照
TFTP
イメージ ファイル
アップロード B-30
サーバの準備 B-27
削除 B-30
ダウンロード B-28
コンフィギュレーション ファイル
アップロード B-13
サーバの準備 B-11
ダウンロード B-12
サーバからのアクセスの制限 33-18
自動設定の構成 3-8
ベース ディレクトリのコンフィギュレーション ファイル 3-8
TFTP サーバ 1-6
Time Domain Reflector
「TDR」を参照
time-range コマンド 35-17
TLV

LLDP 28-2
LLDP-MED 28-2
定義 28-2
ToS 1-13
traceroute コマンド 48-14
「IP traceroute」も参照
traceroute、レイヤ 2
ARP 48-12
CDP 48-12
IP アドレスおよびサブネット 48-12
MAC アドレスおよび VLAN 48-12
使用時の注意事項 48-12
説明 48-12
ブロードキャスト トラフィック 48-12
ポート上の複数のデバイス 48-13
マルチキャスト トラフィック 48-12
ユニキャスト トラフィック 48-12

U

UDLD
イネーブル化
インターフェイス単位 29-6
グローバルでの 29-5
インターフェイスのリセット 29-6
エコーによる検出メカニズム 29-3
概要 29-1
サポート 1-8
ステータス、表示 29-7
設定時の注意事項 29-4
ディセーブル化
インターフェイス単位 29-6
グローバルでの 29-5
光ファイバ インターフェイス上 29-5
デフォルト設定 29-4
ネイバー データベース 29-2
リンク検出メカニズム 29-1
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-10
UDLD によってシャットダウンされたインターフェイスのリセット 29-6
UDP ジッタ、設定 42-9
UDP ジッタ動作、IP SLA 42-8
UDP、設定 39-18
UNIX Syslog サーバ
サポートされるファシリティ 32-14
デーモンの設定 32-13
メッセージ ロギング設定 32-13
UplinkFast
イネーブル化 20-16
サポート 1-8
説明 20-3
ディセーブル化 20-17

V

Version-Mismatch（VM）モード
auto-advise による手動アップグレード 7-14
auto-extract によるアップグレード 7-14
auto-upgrade による自動アップグレード 7-14
説明 7-13
表示 7-13
VLAN
ID 1006 ～ 4094 の設定 13-12
RSPAN による送信元トラフィックの制限 30-22
SPAN による送信元トラフィックの制限 30-18
STP および IEEE 802.1Q トランク 18-12
SVI による接続 11-7
VLAN データベースへの追加 13-9
VLAN ブリッジ STP 18-13, 47-2
VTP モード 14-3
間のトラフィック 13-2
拡張範囲 13-1, 13-11
機能 1-9
サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマーの番号 17-3
削除 13-10
サポートされる番号 1-9

サポート対象 13-3
図 13-2
スイッチ スタック内 13-7
スタティック アクセス ポート 13-10
スパニング ツリー インスタンス 13-3, 13-7, 13-12
設定 13-1
設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 13-12
設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 13-6
説明 11-2, 13-1
ダイナミック アドレスのエージング 18-10
追加 13-9
デフォルト設定 13-8
トークンリング 13-6
トランクで許可 13-21
内部 13-12
ネイティブ、設定 13-23
パラメータ 13-5
表示 13-15
標準範囲 13-1, 13-5
変更 13-9
ポート メンバシップ モード 13-3
マルチキャスト 24-18
vlan.dat ファイル 13-5
VLAN 1
最小化 13-21
トランク ポート上でのディセーブル化 13-21
VLAN ACL
「VLAN マップ」を参照
vlan dot1q tag native コマンド 17-5
VLAN ID、検出 5-32
VLAN Query Protocol
「VQP」を参照
VLAN 管理ドメイン 14-2
VLAN 間ルーティング 1-15, 39-3
vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 13-7
VLAN コンフィギュレーション モード 2-2
VLAN 設定
起動時 13-8
保存 13-8
VLAN データベース
VTP 14-1, 34-1
スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 13-8
保存される VLAN 13-5
保存される VLAN 設定 13-7
VLAN トランキング プロトコル
「VTP」を参照
VLAN トランク 13-15
VLAN フィルタリングおよび SPAN 30-8
VLAN マップ
ACL および VLAN マップの例 35-33
一般的な使用方法 35-36
サーバへのアクセス拒否の例 35-36
削除 35-35
作成 35-33
サポート 1-10
設定 35-31
設定時の注意事項 35-32
定義 35-3
適用 35-35
パケットの拒否および許可 35-33
表示 35-42
VLAN マップ エントリ、順序 35-32
VLAN マネジメント ポリシー サーバ
「VMPS」を参照
VLAN メンバシップ
確認 13-31
モード 13-3
VLAN リンク ステート 11-6
VLAN 割り当て応答、VMPS 13-28
VMPS
MAC アドレスと VLAN のマッピング 13-27
管理 13-32
再確認インターバル、変更 13-31
設定時の注意事項 13-29
設定例 13-33
説明 13-27

ダイナミック ポート メンバシップ
再確認 13-31
説明 13-28
トラブルシューティング 13-33
デフォルト設定 13-29
メンバシップの再確認 13-31
モニタリング 13-32
リトライ回数、変更 13-32
Voice-over-IP 15-1
VPN
サービス プロバイダー ネットワーク内 39-87
転送 39-89
ルーティングの設定 39-96
ルート 39-88
VPN ルーティング / 転送テーブル
「VRF」を参照
VQP 1-9, 13-27
VRF
定義 39-89
テーブル 39-87
VRF 認識サービス
ARP 39-92
ftp 39-94
HSRP 39-93
PING 39-92
RADIUS 39-95
SNMP 39-92
Syslog 39-94
tftp 39-94
traceroute 39-94
uRPF 39-93
設定 39-91
VRF、マルチキャスト VRF の設定 39-95
VTP
アドバタイズメント 13-19, 14-4
拡張範囲 VLAN 13-3, 14-2
クライアント モード、設定 14-13
コンフィギュレーション リビジョン番号
注意事項 14-18
リセット 14-18
サーバ モード、設定 14-15
サポート 1-9
使用方法 14-1
整合性検査 14-5
設定
注意事項 14-9
保存 14-9
要件 14-11
設定要件 14-11
説明 14-1
デフォルト設定 14-9
透過モード、設定 14-12
統計情報 14-19
トークンリングのサポート 14-5
ドメイン 14-2
ドメインへのクライアントの追加 14-18
ドメイン名 14-10
バージョン
イネーブル化 14-16
バージョン 1 14-5
バージョン 2
概要 14-5
設定時の注意事項 14-10
バージョン 3
概要 14-5
バージョン、注意事項 14-10
パスワード 14-10
標準範囲 VLAN 13-3, 14-2
プルーニング
イネーブル化 14-17
概要 14-6
サポート 1-9
ディセーブル化 14-17
例 14-7
プルーニング適格リスト、変更 13-22
モード
移行 14-3
オフ 14-4

クライアント 14-3
サーバ 14-3
透過 14-4
モニタリング 14-19
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-8

W

WCCP
MD5 セキュリティ 44-4
イネーブル化 44-7
クライアントから受信したトラフィックのリダイレクト 44-7
サポートされない WCCPv2 機能 44-5
サポートされない機能 44-5
設定時の注意事項 44-6
説明 44-2
ダイナミック サービス グループ 44-4
デフォルト設定 44-6
転送方式 44-3
認証 44-4
ネゴシエーション 44-3
パケット リターン方式 44-3
パケット リダイレクション 44-4
パスワードの設定 44-7
表示 44-10
メッセージ交換 44-3
モニタリングおよびメンテナンス 44-10
レイヤ 2 ヘッダー書き換え 44-3
Web キャッシュ通信プロトコル
「WCCP」を参照
Web 認証 9-16
設定 10-17
説明 1-10
Web ベース認証
カスタマイズ可能な Web ページ 10-6
説明 10-1
Web ベース認証、他の機能との相互作用 10-7
Web ベース認証のデフォルト設定
802.1X 10-9
WTD
サポート 1-14
しきい値の設定
出力キューセット 37-87
入力キュー 37-83
説明 37-14

あ

アカウンティング
802.1x による 9-52
IEEE 802.1x による 9-15
RADIUS による 6-35
TACACS+ による 6-11, 6-17
アクセス
テンプレート 8-1
アクセス拒否応答、VMPS 13-28
アクセス グループ
インターフェイスへの IPv4 ACL の適用 35-21
レイヤ 2 35-21
レイヤ 3 35-21
アクセス グループ、インターフェイスへの IPv4 ACL の適用 35-21
アクセス コントロール エントリ
「ACE」を参照
アクセス、スタック メンバーへの 7-27
アクセス テンプレート 8-1
アクセス不能認証バイパス 9-24
複数認証ポートのサポート 9-24
アクセス ポート
定義 11-3
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-11
アクセス リスト
「ACL」を参照
アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA 42-1
アクティブ リンク 21-2, 21-4, 21-5, 21-6
アクティブ ルータ 41-1
アップグレード、ソフトウェア イメージの

「ダウンロード」を参照
アップロード
イメージ ファイル
FTP による B-35
RCP による B-40
TFTP による B-30
準備 B-27, B-31, B-36
目的 B-25
コンフィギュレーション ファイル
FTP による B-16
RCP による B-19
TFTP による B-13
準備 B-11, B-14, B-17
目的 B-9
宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 38-9
宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 38-9
宛先アドレス
IPv4 ACL 内 35-12
IPv6 ACL 内 36-7
アドバタイズメント
CDP 27-1
LLDP 28-2
RIP 39-23
VTP 13-19, 14-3, 14-4
アトリビュート、RADIUS
ベンダー固有の 6-36
ベンダー独自仕様の 6-38
アトリビュートと値のペア 9-21
アドレス
IPv6 40-3
MAC アドレス テーブルの表示 5-32
MAC、検出 5-32
スタティック
追加および削除 5-28
定義 5-20
ダイナミック
エージング タイムの変更 5-22
エージングの短縮 18-10
学習 3-18, 5-21
削除 5-23
定義 5-20
デフォルトのエージング 18-10
マルチキャスト
STP アドレス管理 18-10
グループ アドレス範囲 45-3
アドレス エイリアス 24-2
アドレス解決 5-32, 39-11
アドレス解決プロトコル
「ARP」を参照
アプリケーション エンジン、トラフィックのリダイレクト 44-1
アベイラビリティ、機能 1-8
アラーム、RMON 31-4
暗号化、CipherSuite 6-53
暗号化ソフトウェア イメージ
Kerberos 6-40
SSL 6-51
スイッチ スタックに関する考慮事項 6-47, 7-2, 7-19
安全なリモート接続 6-46

い

イーサネット VLAN
追加 13-9
デフォルトおよび範囲 13-8
変更 13-9
イーサネット管理ポート、内部
サポートされない機能 11-17
サポートされる機能 11-17
設定 11-17
説明 11-15
デフォルト設定 11-16
ルーティング 11-16
レイヤ 3 ルーティングの注意事項 11-17
一時的な自己署名証明書 6-52
一般クエリー 21-5
イネーブル シークレット パスワード 6-3

イベント、RMON 31-4
イベント ディテクタ、組み込みイベントマネージャ 34-3
インターネット グループ管理プロトコル
「IGMP」を参照
インターネット制御メッセージ プロトコル
「ICMP」を参照
インターネット プロトコル バージョン 6
「IPv6」を参照
インターフェイス
Auto-MDIX、設定 11-22
カウンタ、クリア 11-30
管理 1-5
再起動 11-30, 11-31
サポート対象 11-8
シャットダウン 11-30
情報の表示 11-29
ステータス 11-29
設定
手順 11-10
説明 11-24
説明になる名前、追加 11-24
速度およびデュプレックス、設定 11-20
タイプ 11-1
デフォルト設定 11-18
デュプレックスおよび速度の設定時の注意事項 11-19
範囲 11-10
範囲マクロ 11-13
番号 11-9
物理、特定 11-8, 11-9
フロー制御 11-21
命名 11-24
モニタリング 11-29
インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
インターフェイス タイプ 11-9
インターフェイスでの shutdown コマンド 11-30

う

ウィザード 1-3
ウェイトしきい値、トラッキング リスト内 43-5

え

永続的な自己署名証明書 6-52
エージング タイム
MAC アドレス テーブル 5-22
最大
MSTP 用 19-26
STP 用 18-25
短縮
MSTP 用 19-25
STP 用 18-10, 18-24
エージング、短縮 18-10
エラー メッセージ、コマンド入力時の 2-5
エリア境界ルータ
「ABR」を参照
エリア ルーティング
IS-IS 39-76
ISO IGRP 39-76

お

応答側、IP SLA
イネーブル化 42-7
説明 42-4
応答時間、IP SLA による測定 42-4
オブジェクト トラッキング
HSRP 43-7
IP SLA 43-9
IP SLA、設定 43-9
モニタリング 43-10
オプション、管理 1-5
オフ モード、VTP 14-4
オフライン設定、スイッチ スタック 7-9
重み付きテール ドロップ

「WTD」を参照
音声 VLAN
Cisco 7960 IP Phone、ポート接続 15-1
IP Phone の音声トラフィック、説明 15-2
IP Phone のデータ トラフィック、説明 15-2
IP Phone への接続 15-4
音声トラフィック用ポートの設定
IEEE 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム 15-6
IEEE 802.1Q フレーム 15-5
設定時の注意事項 15-3
説明 15-1
データ トラフィック用 IP Phone の設定
着信フレームの CoS の変更 15-7
着信フレームの CoS プライオリティを信頼 15-7
デフォルト設定 15-3
表示 15-8
音声認識 802.1x セキュリティ
ポートベース認証
設定 9-43
説明 9-32, 9-43
オンライン診断
概要 49-1
説明 49-1
テストの実行 49-5

か

階層型ポリシー マップ 37-9
設定 37-66
設定時の注意事項 37-38
説明 37-12
ガイド モード 1-3
外部 BGP
「EBGP」を参照
回復手順 48-1
外部ネイバー、BGP 39-58
カウンタのクリア、インターフェイス 11-30
鍵発行局
「KDC」を参照
拡張 crashinfo ファイル 48-20
拡張オブジェクト トラッキング
HSRP 43-7
IP SLA 43-9
IP ルーティング ステート 43-2
コマンド 43-1
定義 43-1
トラッキング リスト 43-3
ラインプロトコル ステート 43-2
拡張システム ID
MSTP 19-19
STP 18-5, 18-17
拡張範囲 VLAN
作成 13-12
設定 13-11
設定時の注意事項 13-12
定義 13-1
内部 VLAN ID による作成 13-14
カスタマー エッジ デバイス 39-88
カスタマイズ可能な Web ページ、Web ベース認証 10-6
仮想スイッチおよび PAgP 38-6
仮想ルータ 41-1, 41-2
簡易ネットワーク管理プロトコル
「SNMP」を参照
環境変数、機能 3-26
環境変数、組み込みイベントマネージャ 34-5
管理アクセス
アウトオブバンド コンソール ポート接続 1-7
インバンド
CLI セッション 1-7
SNMP 1-7
デバイス マネージャ 1-7
ブラウザ セッション 1-7
管理アドレス TLV 28-2
管理オプション
CLI 2-1

CNS 4-1
Network Assistant 1-3
概要 1-5
スイッチ スタック 1-3
管理距離
OSPF 39-42
定義 39-117
ルーティング プロトコルのデフォルト 39-106
管理性に関する機能 1-6

き

キープアライブ メッセージ 18-3
機能、互換性のない 26-13
逆アドレス解決 39-11
逆アドレス解決プロトコル
「RARP」を参照
共通セッション ID
「単一セッション ID」を参照 9-34
許可
RADIUS による 6-34
TACACS+ による 6-11, 6-16
許可 VLAN リスト 13-21
緊急キュー、QoS 用 37-93
近接ディスカバリ、IPv6 40-6
近接ディスカバリおよび回復、EIGRP 39-46

く

グ 17-10
クエリー、IGMP 24-4
クエリー要求、IGMP 24-13
組み込みイベントマネージャ
3.2 34-5
TCL スクリプトの登録および定義 34-7
アプレットの登録および定義 34-6
イベント ディテクタ 34-3
概要 34-1
環境変数 34-5
情報の表示 34-8
処理 34-4
設定 34-1, 34-6
ポリシー 34-4
クライアント プロセス、トラッキング 43-1
クライアント モード、VTP 14-3
クラス マップ、QoS 用
設定 37-55
説明 37-8
表示 37-94
クラスレス ドメイン間ルーティング
「CIDR」を参照
クラスレス ルーティング 39-9
クリア、インターフェイスの 11-30
クリティカル VLAN 9-24
クリティカル認証、IEEE 802.1x 9-56
グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
グローバル脱退、IGMP 24-13
クロススタック EtherChannel
サポート 1-8
図 38-4
設定
レイヤ 2 インターフェイス上 38-13
レイヤ 3 物理インターフェイス上 38-17
設定時の注意事項 38-13
説明 38-2
クロススタック UplinkFast、STP
Fast Uplink Transition Protocol 20-6
イネーブル化 20-17
高速コンバージェンス イベント 20-7
サポート 1-8
説明 20-5
ディセーブル化 20-17
標準コンバージェンス イベント 20-7
クロック
「システム クロック」を参照

け

ケーブル、単一方向リンクのモニタリング 29-1
ゲスト VLAN および IEEE 802.1x 9-22
検出、間接リンク障害の、STP 20-8

こ

高速コンバージェンス 19-10, 21-3
高速スパニング ツリー プロトコル
「RSTP」を参照
互換性、機能 26-13
互換性、ソフトウェア
「スタック、スイッチ」を参照
コマンド
no および default 2-4
省略 2-4
コマンド、特権レベルの設定 6-8
コマンド モード 2-1
コマンドライン インターフェイス
「CLI」を参照
コミュニティ VLAN 16-2, 16-3
コミュニティ ストリング
概要 33-4
設定 33-8
コミュニティ ポート 16-2
コミュニティ リスト、BGP 39-69
混合ポート
設定 16-13
定義 16-2
コンソール ポート、接続 2-11
コンテンツ ルーティング テクノロジー
「WCCP」を参照
コントロール プロトコル、IP SLA 42-4
コンフィギュレーション交換 B-20
コンフィギュレーション ファイル
DHCP による取得 3-10
TFTP サーバ アクセスの制限 33-18
アーカイブ B-21
アップロード
FTP による B-16
RCP による B-19
TFTP による B-13
準備 B-11, B-14, B-17
目的 B-9
交換およびロールバック、注意事項 B-22
コピー時の無効な組み合わせ B-6
作成および使用、注意事項 B-10
システム コンタクトおよびロケーション情報 33-17
実行コンフィギュレーションの交換 B-20, B-21
実行コンフィギュレーションのロールバック B-20, B-22
スタートアップ コンフィギュレーションのクリア B-20
説明 B-9
タイプおよび場所 B-10
ダウンロード
FTP による B-15
RCP による B-18
TFTP による B-12
自動による 3-23
準備 B-11, B-14, B-17
目的 B-9
テキスト エディタによる作成 B-11
デフォルト名 3-22
パスワード回復のディセーブル化に関する考慮事項 6-5
ファイル名の指定 3-23
保存されているコンフィギュレーション ファイルの削除 B-20
コンフィギュレーション ロールバック B-20, B-21
コンポーネント管理 TLV 28-3, 28-7

さ

サーバ モード、VTP 14-3
サービス拒絶攻撃 26-1
サービス クラス

「CoS」を参照
サービス タイプ
「ToS」を参照
サービス プロバイダー ネットワーク
EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリン 17-10
IEEE 802.1Q トンネリング 17-1
カスタマー VLAN 17-2
レイヤ 2 プロトコル 17-8
サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP 19-1
再確認インターバル、VMPS、変更 13-31
再確認、ダイナミック VLAN メンバシップの 13-31
最大エージング タイム
MSTP 19-26
STP 18-25
最大許容デバイス数、ポートベース認証 9-39
最大ホップ カウント、MSTP 19-26
最適化、システム リソースの 8-1
削除、VLAN の 13-10
サブドメイン、プライベート VLAN 16-1
サブネット ゼロ 39-9
サブネット マスク 39-8
サポートされるポートベース認証方式 9-8

し

シーケンスの再編集、ACL エントリの 35-15
シーケンス番号、ログ メッセージの 32-8
シェイプド ラウンド ロビン
「SRR」を参照
時間帯 5-13
時間範囲、ACL 内 35-17
しきい値、トラフィック レベル 26-2
しきい値モニタリング、IP SLA 42-6
時刻
「NTP およびシステム クロック」を参照
シスコ検出プロトコル
「CDP」を参照
システム MTU
IS-IS LSP 39-81
システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング 17-5
システム記述 TLV 28-2
システム機能 TLV 28-2
システム クロック
概要 5-2
設定
時間帯 5-13
手動による 5-12
夏時間 5-14
日時の表示 5-12
「NTP」も参照
システム プロンプト、デフォルト設定 5-15, 5-16
システム名
手動設定 5-16
デフォルト設定 5-16
システム名 TLV 28-2
システム メッセージ ロギング
facility キーワード、説明 32-14
level キーワード、説明 32-10
Syslog ファシリティ 1-16
UNIX Syslog サーバ
サポートされるファシリティ 32-14
デーモンの設定 32-13
ロギング ファシリティの設定 32-13
イネーブル化 32-5
エラー メッセージの重大度の定義 32-9
概要 32-1
シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 32-8
スタックの変更、作用 32-2
設定の表示 32-14
タイム スタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 32-8
ディセーブル化 32-4
デフォルト設定 32-4
表示宛先デバイスの設定 32-5
メッセージ形式 32-2

メッセージの制限 32-10
ログ メッセージの同期化 32-7
システム リソース、最適化 8-1
システム ルーティング
IS-IS 39-76
ISO IGRP 39-76
システム名
「DNS」も参照
実行コンフィギュレーション
交換 B-20, B-21
保存 3-20
ロールバック B-20, B-22
自動 QoS
「QoS」を参照
自動 QoS ビデオ デバイス 1-14
自動 RP、説明 45-7
自動アップグレード（auto-upgrade）、スイッチ スタック内 7-14
自動イネーブル 9-33
自動検知、ポート速度 1-4
自動コピー（auto-copy）、スイッチ スタック内 7-14
自動ステート除外 11-6
自動設定 3-4
自動抽出（auto-extract）、スイッチ スタック内 7-14
自動通知（auto-advise）、スイッチ スタック内 7-14
自動ネゴシエーション
インターフェイス設定時の注意事項 11-20
デュプレックス モード 1-4
不一致 48-9
シャットダウンしきい値、レイヤ 2 プロトコル パケットの 17-12
重大度、システム メッセージでの定義 32-9
柔軟な認証順序付け
概要 9-31
設定 9-67
集約アドレス、BGP 39-72
集約可能なグローバル ユニキャスト アドレス 40-5
集約ポート
「EtherChannel」を参照
集約ポリサー 37-74
集約ポリシング 1-13
受動インターフェイス
OSPF 39-42
設定 39-116
準備チェック
ポートベース認証
設定 9-42
説明 9-16, 9-42
照合、IPv4 ACL 35-8
冗長性
EtherChannel 38-3
HSRP 41-1
STP
パス コスト 13-26
バックボーン 18-9
ポート プライオリティ 13-24
マルチドロップ バックボーン 20-5
冗長リンクおよび UplinkFast 20-16
省略、コマンドの 2-4
初期設定
Express Setup 1-3
デフォルト 1-17
自律システム、BGP 内 39-58
自律システム境界ルータ
「ASBR」を参照
侵入検知システム
「IDS アプライアンス」を参照
信頼境界機能、QoS 用 37-45
信頼性のある時刻源、説明 5-2
信頼性のあるトランスポート プロトコル、EIGRP 39-46
信頼点、CA 6-51

す

スイッチ仮想インターフェイス
「SVI」を参照
スイッチ ソフトウェアの機能 1-1

スイッチでは 40-3
スイッチド パケット上、ACL 35-38
スイッチド ポート 11-2
スイッチド ポート アナライザ
「SPAN」を参照
スイッチのコンソール ポート 1-7
スイッチ プライオリティ
MSTP 19-24
STP 18-22
スーパーネット 39-9
スケジューリング、IP SLA 動作 42-5
スケジュールされたリロード 3-27
スタートアップ コンフィギュレーション
クリア B-20
コンフィギュレーション ファイル
自動でのダウンロード 3-23
ファイル名の指定 3-23
デフォルトのブート設定 3-22
ブート
手動による 3-23
特定のイメージ 3-24
スタック、スイッチ
1 つのメンバーから別のメンバーへのイメージ ファイルのコピー B-41
auto-advise 7-14
auto-copy 7-14
auto-extract 7-14
auto-upgrade 7-14
CDP に関する考慮事項 27-2
HSRP に関する考慮事項 41-5
IPv6 40-11
MAC アドレス 7-23
MAC アドレスに関する考慮事項 5-22
STP
サポートされるインスタンス 18-11
スタック ルート スイッチ選択 18-4
ブリッジ ID 18-3
ルート ポート選択 18-4
Version-Mismatch（VM）モード
auto-advise による手動アップグレード 7-14
auto-extract によるアップグレード 7-14
auto-upgrade による自動アップグレード 7-14
説明 7-13
例 7-15
アップグレード B-41
永続的な MAC アドレス タイマーのイネーブル化 7-23
オフライン設定
新規メンバーのプロビジョニング 7-26
説明 7-9
プロビジョニング済みスイッチ交換の影響 7-12
プロビジョニング済みスイッチ削除の影響 7-12
プロビジョニング済みスイッチ追加の影響 7-10
プロビジョニング済みスイッチ、定義 7-9
プロビジョニング済み設定、定義 7-9
管理 7-1
管理接続 7-19
互換性、ソフトウェア 7-12
互換性のないソフトウェアおよびイメージのアップグレード 7-17, B-41
故障したメンバーの交換 7-18
コンフィギュレーション ファイル 7-17
サポートされる MSTP インスタンス 18-11
システム全体の設定時の考慮事項 7-18
システム プロンプトに関する考慮事項 5-15
システム メッセージ
表示されるホスト名 32-1
リモートでのモニタリング 32-2
情報の表示 7-28
情報の割り当て
新規メンバーのプロビジョニング 7-26
プライオリティ値 7-26
メンバー番号 7-25
スタック プロトコル バージョン 7-13
設定シナリオ 7-20
設定時の注意事項 7-23

説明 7-1
ソフトウェア イメージ バージョン 7-12
ソフトウェアの互換性 7-12
デフォルト設定 7-22
統合 7-3
特定のメンバーの CLI へのアクセス 7-27
ハードウェアの互換性および SDM ミスマッチ モード 7-12
ブリッジ ID 7-8
プロビジョニング済みスイッチ
交換 7-12
削除 7-12
追加 7-10
分割 7-4, 48-9
マルチキャスト ルーティング、スタック マスターおよびメンバーの役割 45-11
メンバシップ 7-3
「スタック マスターおよびスタック メンバー」も参照
スタックの変更
影響
IPv6 ルーティング 40-12
スタックの変更、影響
ACL 設定 35-7
CDP 27-2
EtherChannel 38-10
HSRP 41-5
IEEE 802.1x ポートベース認証 9-12
IGMP スヌーピング 24-7
IPv6 ACL 36-4
IP ルーティング 39-5
MAC アドレス テーブル 5-22
MSTP 19-8
MVR 24-19
SDM テンプレート選択 8-3
SNMP 33-1
SPAN および RSPAN 30-11
STP 18-13
VLAN 13-7
VTP 14-8
クロススタック EtherChannel 38-13
システム メッセージ ログ 32-2
フォールバック ブリッジング 47-3
ポート セキュリティ 26-20
マルチキャスト ルーティング 45-11
スタック プロトコル バージョン 7-13
スタック マスター
IPv6 40-12
再選択 7-6
「スタック、スイッチ」も参照
選択 7-6
定義 7-1
ブリッジ ID（MAC アドレス） 7-8
スタック メンバー
IPv6 40-12
交換 7-18
情報の表示 7-28
新規メンバーのプロビジョニング 7-26
「スタック、スイッチ」も参照
設定
プライオリティ値 7-26
メンバー番号 7-25
定義 7-1
特定のメンバーの CLI へのアクセス 7-27
番号 7-8
プライオリティ値 7-9
スタック メンバー番号 11-9
スタティック IP ルーティング 1-15
スタティック MAC アドレス指定 1-10
スタティック SSM マッピング 45-20, 45-22
スタティック VLAN メンバシップ 13-2
スタティック アクセス ポート
VLAN への割り当て 13-10
定義 11-3, 13-3
スタティック アドレス
「アドレス」を参照
スタティック トラフィック転送 45-23
スタティック ホストの IP ポート セキュリティ
PVLAN ホスト ポート上 22-25

レイヤ 2 アクセス ポート上 22-21
スタティック ルーティング 39-4
スタティック ルート
IPv6 用の設定 40-23
概要 40-8
設定 39-105
スタブ エリア、OSPF 39-41
スタブ ルーティング
EIGRP 39-31
PIM 39-29
スタンバイ タイマー、HSRP 41-11
スタンバイ リンク 21-2
スタンバイ ルータ 41-1
スティッキ ラーニング 26-10
ストーム制御
サポート 1-4
しきい値 26-2
設定 26-3
説明 26-1
ディセーブル化 26-5
表示 26-21
ストラタム、NTP 5-2
スヌーピング、IGMP 24-2
スパニング ツリーおよびネイティブ VLAN 13-18
スパニング ツリー プロトコル
「STP」を参照
スプリット ホライズン、RIP 39-26
スモールフレーム着信レート、設定 26-5

せ

制限 VLAN
IEEE 802.1x の利用 9-23
設定 9-54
説明 9-23
制限、アクセスの
NTP サービス 5-8
RADIUS 6-18
TACACS+ 6-10
概要 6-1
パスワードおよび特権レベル 6-2
成功応答、VMPS 13-28
整合性検査、VTP バージョン 2 の 14-5
生成、IGMP レポートの 21-4
セカンダリ VLAN 16-2
セキュア HTTP クライアント
設定 6-56
表示 6-57
セキュア HTTP サーバ 6-51
設定 6-55
表示 6-57
セキュア MAC アドレス
最大数 26-10
削除 26-17
スイッチ スタック 26-20
タイプ 26-10
セキュア シェル
「SSH」を参照
セキュア ポート
スイッチ スタック 26-20
設定 26-9
セキュリティ機能 1-10
セキュリティ、ポート 26-9
設計、ネットワークの、例 1-20
接続、安全なリモートへの 6-46
接続の問題 48-10, 48-11, 48-13
設定可能な Leave タイマー、IGMP 24-6
設定時の注意事項、マルチ VRF CE 39-90
設定、初期
Express Setup 1-3
デフォルト 1-17
設定、スモールフレーム着信レート 26-5
設定、ポートベース認証の違反モードの 9-39 ～ 9-40
設定、保存 3-20
設定、マルチキャスト VRF の 39-95
設定例、ネットワーク 1-20
設定ロギング 2-5
選択

「スタック マスター」を参照

そ

送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 38-9
送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 38-9
送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 38-9
送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 38-9
送信元アドレス
IPv4 ACL 内 35-12
IPv6 ACL 内 36-7
即時脱退、IGMP
イネーブル化 25-10
説明 24-6
ソフト 33-4
ソフトウェア イメージ
tar ファイル形式、説明 B-26
回復手順 48-2
フラッシュ内の場所 B-26
リロードのスケジューリング 3-28
「ダウンロードおよびアップロード」も参照
ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 48-2
ソフトウェアの互換性
「スタック、スイッチ」を参照

た

ダイナミック ARP インスペクション
ARP ACL および DHCP スヌーピング エントリのプライオリティ 23-5
ARP キャッシュ ポイズニング 23-1
ARP スプーフィング攻撃 23-1
ARP パケットのレート制限
errdisable ステート 23-5
設定 23-11
説明 23-4
ARP 要求、説明 23-1
DHCP スヌーピング バインディング データベース 23-2
man-in-the-middle 攻撃、説明 23-2
インターフェイスの信頼状態 23-3
機能 23-2
クリア
統計情報 23-16
ログ バッファ 23-16
検証チェック、実行 23-13
サービス拒絶攻撃、防止 23-11
設定
DHCP 環境内 23-7
着信 ARP パケットのレート制限 23-4, 23-11
非 DHCP 環境の ACL 23-9
ログ バッファ 23-14
設定時の注意事項 23-6
説明 23-1
デフォルト設定 23-6
統計情報
クリア 23-16
表示 23-16
ドロップされたパケットのロギング、説明 23-5
ネットワーク セキュリティ上の問題およびインターフェイスの信頼状態 23-3
表示
ARP ACL 23-15
信頼状態およびレート制限 23-16
設定および動作ステート 23-16
統計情報 23-16
ログ バッファ 23-16
レート制限を超えたことによる errdisable ステート 23-5
ログ バッファ
クリア 23-16
設定 23-14
表示 23-16
ダイナミック アクセス ポート
設定 13-30
定義 11-3
特性 13-4

ダイナミック アドレス
「アドレス」を参照
ダイナミック トランキング プロトコル
「DTP」を参照
ダイナミック ポート VLAN メンバシップ
再確認 13-31
接続のタイプ 13-30
説明 13-28
トラブルシューティング 13-33
ダイナミック ルーティング 39-4
ISO CLNS 39-76
タイム スタンプ、ログ メッセージの 32-8
ダイレクト ユニキャスト要求 1-6
ダウンロード
イメージ ファイル
CMS による 1-3
FTP による B-32
HTTP による 1-3, B-25
RCP による B-38
TFTP による B-28
準備 B-27, B-31, B-36
デバイス マネージャまたは Network Assistant による B-25
古いイメージの削除 B-30
目的 B-25
コンフィギュレーション ファイル
FTP による B-15
RCP による B-18
TFTP による B-12
準備 B-11, B-14, B-17
目的 B-9
ダウンロード可能な ACL 9-19, 9-21, 9-64
タグ付きパケット
IEEE 802.1Q 17-3
レイヤ 2 プロトコル 17-8
だけでなくすべての 45-67
単一セッション ID 9-34
単一方向リンク検出プロトコル
「UDLD」を参照
端末回線、パスワードの設定 6-6

つ

ツイストペア イーサネット、単一方向リンクの検出 29-1

て

で 18-10
ディスタンスベクトル プロトコル 39-4
ディスタンスベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル
「DVMRP」を参照
ディレクトリ
作業ディレクトリの表示 B-4
作成および削除 B-5
変更 B-4
です 5-22
デスクトップ テンプレート 7-12
デバイス検出プロトコル 27-1, 28-1
デバイス マネージャ
インバンド管理 1-7
説明 1-3, 1-5
利点 1-3
デバッグ
エラー メッセージ出力のリダイレクト 48-17
コマンドの使用 48-16
すべてのシステム診断のイネーブル化 48-17
特定の機能に対するイネーブル化 48-16
デフォルト ゲートウェイ 3-18, 39-14
デフォルト設定
802.1x 9-36
BGP 39-55
CDP 27-2
DHCP 22-8
DHCP Option 82 22-9
DHCP スヌーピング 22-9

DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-9
DNS 5-17
EIGRP 39-47
EtherChannel 38-11
Flex Link 21-9
HSRP 41-6
IEEE 802.1Q トンネリング 17-4
IGMP 45-45
IGMP スヌーピング 24-7, 25-6, 25-7
IGMP スロットリング 24-26
IGMP フィルタリング 24-26
IP SLA 42-6
IPv6 40-13
IP アドレス指定、IP ルーティング 39-7
IP ソース ガード 22-19
IP マルチキャスト ルーティング 45-12
IS-IS 39-78
LLDP 28-4
MAC アドレス テーブル 5-22
MAC アドレス テーブル移動更新 21-9
MSDP 46-4
MSTP 19-16
MVR 24-21
NTP 5-4
OSPF 39-35
PIM 45-12
RADIUS 6-27
RIP 39-23
RMON 31-3
RSPAN 30-12
SDM テンプレート 8-4
SNMP 33-7
SPAN 30-12
SSL 6-53
STP 18-14
TACACS+ 6-13
UDLD 29-4
VLAN 13-8
VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 13-18
VMPS 13-29
VTP 14-9
WCCP 44-6
イーサネット インターフェイス 11-18
オプションのスパニング ツリー設定 20-12
音声 VLAN 15-3
システム名およびプロンプト 5-16
システム メッセージ ロギング 32-4
自動 QoS 37-22
初期スイッチ情報 3-3
スイッチ スタック 7-22
ダイナミック ARP インスペクション 23-6
パスワードおよび特権レベル 6-2
バナー 5-19
標準 QoS 37-36
ブート 3-22
フォールバック ブリッジング 47-4
プライベート VLAN 16-7
マルチ VRF CE 39-89
レイヤ 2 インターフェイス 11-18
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-11
デフォルト ネットワーク 39-106
デフォルトのルーティング 39-4
デフォルト ルート 39-106
デュアル IPv4/IPv6 テンプレート 8-2, 40-7
デュアル アクティブ検出 38-6
デュアル プロトコル スタック
IPv4 および IPv6 40-7
SDM テンプレートのサポート 40-7
電源管理 TLV 28-2, 28-7
転送情報ベース
「FIB」を参照
転送遅延時間
MSTP 19-25
STP 18-24
転送、非ルーティング プロトコルの 47-1
伝送ホールド カウント

「STP」を参照
テンプレート、SDM 8-2

と

ド 40-9
透過的な DSCP 37-46
透過モード、VTP 14-4
同期化、BGP 39-58
統計情報
802.1X 10-18
CDP 27-5
IEEE 802.1x 9-69
IP マルチキャスト ルーティング 45-69
LLDP 28-10
LLDP-MED 28-10
NMSP 28-10
OSPF 39-45
QoS 入力および出力 37-94
RMON イーサネット グループ 31-6
RMON グループ履歴 31-5
SNMP 入力および出力 33-20
VTP 14-19
インターフェイス 11-29
等コスト ルーティング 1-15, 39-104
到達可能性、IP SLA IP ホストのトラッキング 43-9
トークンリング VLAN
VTP サポート 14-5
サポート 13-6
独立 VLAN 16-2, 16-3
独立ポート 16-2
都市ロケーション 28-3
特権 EXEC モード 2-2
特権レベル
回線に対するデフォルトの変更 6-9
概要 6-2, 6-7
コマンドの設定 6-8
終了 6-9
ログイン 6-9
ドメイン、ISO IGRP ルーティング 39-76
ドメイン ネーム システム
「DNS」を参照
ドメイン名
DNS 5-16
VTP 14-10
トラッキング、IP ルーティング ステートの 43-2
トラッキング、インターフェイス ラインプロトコル ステート 43-2
トラッキング オブジェクト 43-2
トラッキング対象オブジェクト
ウェイトしきい値による 43-5
しきい値の割合による 43-6
ブール論理式による 43-4
トラッキング プロセス 43-1
トラッキング リスト
設定 43-3
タイプ 43-3
トラック ステート、IP SLA のトラッキング 43-9
トラップ
MAC アドレス通知の設定 5-23, 5-25, 5-27
イネーブル化 5-23, 5-25, 5-27, 33-13
概要 33-1, 33-5
通知タイプ 33-13
定義 33-4
マネージャの設定 33-13
トラップドア メカニズム 3-2
トラフィック
非分割 35-6
フラグメント IPv6 36-2
フラッディングのブロッキング 26-8
分割 35-6
トラフィックの 26-8
トラフィック ポリシング 1-13
トラフィック抑制 26-2
トラブルシューティング
CiscoWorks による 33-4
CPU 使用率 48-23
debug コマンドによる 48-16

PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 45-40
PING による 48-10
show forward コマンド 48-18
traceroute による 48-13
クラッシュ情報の表示 48-20
システム メッセージ ロギングによる 32-1
接続の問題 48-10, 48-11, 48-13
単一方向リンクの検出 29-1
パケット転送の設定 48-18
トランキング カプセル化 1-9
トランク
許可 VLAN リスト 13-21
設定 13-20, 13-25, 13-26
タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 13-23
パラレル 13-26
非 DTP デバイスに対する 13-16
プルーニング適格リスト 13-22
ロード シェアリング
STP パス コストの設定 13-26
STP ポート プライオリティの使用 13-24, 13-25
トランク フェールオーバー
「リンクステート トラッキング」を参照
トランク ポート
カプセル化 13-20, 13-25, 13-26
設定 13-20
定義 11-3, 13-3
ドロップしきい値、レイヤ 2 プロトコル パケットの 17-12
トンネリング
IEEE 802.1Q 17-1
定義 17-1
レイヤ 2 プロトコル 17-8
トンネル ポート
IEEE 802.1Q、設定 17-7
説明 11-4, 17-1
他の機能との非互換性 17-6
定義 13-4

な

内部 BGP
「IBGP」を参照
内部ゲートウェイ プロトコル
「IGP」を参照
内部ネイバー、BGP 39-58
夏時間 5-14
名前付き IPv4 ACL 35-15
名前付き IPv6 ACL 36-3

に

二重タグ付きパケット
IEEE 802.1Q トンネリング 17-2
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-11
による 18-10
認識できない Type-Length-Value（TLV）のサポート 14-5
認証
AAA を実装するローカル モード 6-45
EIGRP 39-52
HSRP 41-11
NTP アソシエーション 5-4
open1x 9-31
RADIUS
鍵 6-28
ログイン 6-30
TACACS+
鍵 6-13
定義 6-11
ログイン 6-14
「ポートベース認証」も参照
認証鍵、ルーティング プロトコル 39-118
認証失敗 VLAN
「制限 VLAN」を参照
認証の互換性、Catalyst 6000 スイッチとの 9-9
認証マネージャ
CLI コマンド 9-9

概要 9-8
旧 802.1x CLI コマンドとの互換性 9-10
単一セッション ID 9-34

ね

ネイティブ VLAN
IEEE 802.1Q トンネリング 17-4
設定 13-23
デフォルト 13-23
ネイバー、BGP 39-70
ネットワーク管理
CDP 27-1
RMON 31-1
SNMP 33-1
ネットワーク構成例
拡張されたデータセンター 1-22
小規模から中規模のネットワーク 1-23
データセンター 1-22
ネットワーク サービスの提供 1-21
ネットワーク パフォーマンスの向上 1-20
ネットワーク設計
サービス 1-21
パフォーマンス 1-20
ネットワーク タイム プロトコル
「NTP」を参照
ネットワーク パフォーマンス、IP SLA による測定 42-3
ネットワーク ポリシー TLV 28-2, 28-7

の

の B-14, B-27

は

バージョン依存型透過モード 14-5
パーセンテージしきい値、トラッキング リスト内 43-6
バーチャル プライベート ネットワーク
「VPN」を参照
ハードウェアの制約およびレイヤ 3 インターフェイス 11-25
バインディング
DHCP スヌーピング データベース 22-7
IP ソース ガード 22-17
アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 22-6 22-16
バインディング データベース
DHCP スヌーピング
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
アドレス、DHCP サーバ
「DHCP、Cisco IOS サーバ データベース」を参照
バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
パケット 22-5
パケットの変更、QoS による 37-21
パス コスト
MSTP 19-23
STP 18-21
パスワード
VTP ドメイン 14-10
暗号化 6-3
回復 48-3
回復のディセーブル化 6-5
概要 6-1
セキュリティ用 1-10
設定
enable secret 6-3
Telnet 6-6
イネーブル化 6-3
ユーザ名と 6-7
デフォルト設定 6-2
パスワードの暗号化 6-3
バックアップ インターフェイス
「Flex Link」を参照
バックアップ リンク 21-2

バナー
設定
Message-of-The-Day ログイン 5-19
ログイン 5-20
デフォルト設定 5-19
表示タイミング 5-18
パフォーマンス向上機能 1-4
パフォーマンス、ネットワーク設計 1-20
パラレル パス、ルーティング テーブル内 39-104
範囲
インターフェイス 11-11
マクロ 11-13
汎用ソフトウェア イメージ
暗号化 1-1
非暗号化 1-1
フィーチャ セット
IP サービス 1-2
IP ベース 1-2

ひ

非 IP トラフィックのフィルタリング 35-28
ピア、BGP 39-70
非階層型ポリシー マップ
設定 37-61
設定時の注意事項 37-38
説明 37-10
光ファイバ、単一方向リンクの検出 29-1
非対称リンク、および IEEE 802.1Q トンネリング 17-4
非トランキング モード 13-17
標準範囲 VLAN 13-5
設定 13-5
設定時の注意事項 13-6
定義 13-1

ふ

ファイル
crashinfo、説明 48-20
tar
イメージ ファイル形式 B-26
作成 B-7
抽出 B-8
内容の表示 B-7
拡張 crashinfo
説明 48-21
場所 48-21
基本 crashinfo
説明 48-20
場所 48-20
コピー B-5
削除 B-6
内容の表示 B-8
ファイル システム
使用可能なファイル システムの表示 B-2
デフォルトの設定 B-3
ネットワーク ファイル システム名 B-5
ファイル情報の表示 B-3
ローカル ファイル システム名 B-1
不一致、自動ネゴシエーション 48-9
フィルタ、IP
「ACL、IP」を参照
フィルタリング
IPv6 トラフィック 36-5, 36-9
show コマンドおよび more コマンドの出力 2-10
VLAN 内 35-31
非 IP トラフィック 35-28
フィルタリング、show コマンドおよび more コマンドの出力 2-10
フィルタリングの 20-3
ブート
手動による 3-23
特定のイメージ 3-24
ブート プロセス 3-2
ブート ローダ、機能 3-2
ブートストラップ ルータ（BSR）、説明 45-8
ブート ローダ
アクセス 3-25

環境変数 3-26
説明 3-2
トラップドア メカニズム 3-2
プロンプト 3-25
ブール論理式、トラッキング リスト内 43-4
フェールオーバーのサポート 1-8
フォールバック ブリッジング
STP
Hello BPDU インターバル 47-9
VLAN ブリッジ STP 47-2
VLAN ブリッジのスパニング ツリー プライオリティ 47-6
インターフェイス上でのディセーブル化 47-10
インターフェイス プライオリティ 47-7
キープアライブ メッセージ 18-3
最大アイドル時間 47-10
転送遅延インターバル 47-9
パス コスト 47-8
SVI およびルーテッド ポート 47-1
VLAN ブリッジ STP 18-13
インターフェイスの接続 11-8
概要 47-1
サポート 1-15
サポートされないプロトコル 47-4
スタックの変更、作用 47-3
設定時の注意事項 47-4
説明 47-1
デフォルト設定 47-4
ブリッジ グループ
機能 47-2
削除 47-5
作成 47-4
サポートされる番号 47-5
説明 47-2
表示 47-11
ブリッジ テーブル
クリア 47-11
表示 47-11
フレーム転送
パケットの転送 47-2
パケットのフラッディング 47-2
プロトコル、サポート対象外の 47-4
保護ポート 47-4
複数認証
アクセス不能認証バイパスのサポート 9-24
複数認証モード
「複数認証モード」を参照
複数の認証 9-13
物理ポート 11-2
プライオリティ
CoS の変更 15-7
CoS を信頼 15-7
HSRP 41-8
プライベート VLAN
IP アドレス指定 16-3
SDM テンプレート 16-4
SVI 16-5
エンド ステーション アクセス 16-3
構成タスク 16-6
コミュニティ VLAN 16-2, 16-3
コミュニティ ポート 16-2
混合ポート 16-2
サブドメイン 16-1
スイッチ スタック 16-6
セカンダリ VLAN 16-2
設定 16-10
設定時の注意事項 16-7, 16-9
デフォルト設定 16-7
独立 VLAN 16-2, 16-3
独立ポート 16-2
トラフィック 16-5
複数のスイッチにまたがる 16-4
プライマリ VLAN 16-1, 16-3
ポート
コミュニティ 16-2
混合 16-2
混合ポートの設定 16-13
設定時の注意事項 16-9

説明 13-4
独立 16-2
ホスト ポートの設定 16-12
マッピング 16-14
モニタリング 16-15
利点 16-1
プライベート VLAN エッジ ポート
「保護ポート」を参照
プライマリ VLAN 16-1, 16-3
プライマリ リンク 21-2
フラッシュ デバイス、数 B-1
フラッディング トラフィック、ブロッキング 26-8
プリエンプション遅延、デフォルト設定 21-9
プリエンプション、デフォルト設定 21-9
ブリッジ グループ
「フォールバック ブリッジング」を参照
ブリッジド パケット上、ACL 35-39
ブリッジ プロトコル データ ユニット
「BPDU」を参照
プルーニング、VTP
イネーブル化
VTP ドメイン内 14-17
ポート上 13-22
概要 14-6
ディセーブル化
VTP ドメイン内 14-17
ポート上 13-23
例 14-7
プルーニング適格リスト
VLAN 14-17
VTP プルーニング用 14-6
変更 13-22
プレフィクス リスト、BGP 39-67
フローチャート
QoS 出力キューイングおよびスケジューリング 37-18
QoS 入力キューイングおよびスケジューリング 37-16
QoS 分類 37-7
QoS ポリシングおよびマーキング 37-11
ブロードキャスト ストーム 26-1, 39-16
ブロードキャスト ストーム制御コマンド 26-4
ブロードキャスト パケット
指定 39-16
フラッディング 39-16
ブロードキャスト フラッディング 39-19
フローベースのパケット分類 1-13
プロキシ ARP
設定 39-13
定義 39-11
ディセーブルに設定された IP ルーティング 39-14
プロキシ レポート 21-4
ブロッキング、パケットの 26-8
プロトコル依存モジュール、EIGRP 39-47
プロバイダー エッジ デバイス 39-88
プロビジョニング、スイッチ スタックの新規メンバー 7-9
プロファイル外のマークダウン 1-13

へ

ヘルプ、コマンドラインの 2-3
編集機能
イネーブル化およびディセーブル化 2-7
画面幅よりも長いコマンドライン 2-9
キーストロークによる 2-7

ほ

防止、不正アクセスの 6-1
ボーダー ゲートウェイ プロトコル
「BGP」を参照
ポート
10 ギガビット イーサネット 11-7
IEEE 802.1Q トンネル 13-4
VLAN 割り当て 13-10
アクセス 11-3
スイッチ 11-2

スタティック アクセス 13-3, 13-10
セキュア 26-9
ダイナミック アクセス 13-4
トランク 13-3, 13-15
ブロッキング 26-8
保護 26-6
ルーテッド 11-4
ポート ACL
タイプ 35-4
定義 35-3
ポート VLAN ID TLV 28-2
ポート記述 TLV 28-2
ポートシャットダウン応答、VMPS 13-28
ポート集約プロトコル
「EtherChannel」を参照
ポート信頼状態
IP Phone のポート セキュリティの確保 37-45
QoS ドメイン間 37-47
QoS ドメイン内 37-42
サポート 1-13
分類オプション 37-5
ポート セキュリティ
QoS 信頼境界 37-45
イネーブル化 26-20
違反 26-10
エージング 26-18
スタック 26-20
スティッキ ラーニング 26-10
設定 26-13
説明 26-9
他の機能による 26-12
デフォルト設定 26-12
トランク ポート上 26-15
表示 26-21
プライベート VLAN 26-20
ポート チャネル
「EtherChannel」を参照
ポート プライオリティ
MSTP 19-21
STP 18-20
ポート ブロッキング 1-4, 26-8
ポートベース認証
EAPOL-start フレーム 9-6
EAP-request/identity フレーム 9-6
EAP-response/identity フレーム 9-6
VLAN 割り当て
AAA 許可 9-40
構成タスク 9-18
説明 9-17
特性 9-17
Wake-on-LAN、説明 9-28
アカウンティング 9-15
アクセス不能認証バイパス
設定 9-56
説明 9-24
注意事項 9-38
イネーブル化
802.1X 認証 10-11
音声 VLAN
PVID 9-26
VVID 9-26
説明 9-26
音声認識 802.1x セキュリティ
設定 9-43
説明 9-32, 9-43
開始およびメッセージ交換 9-6
カプセル化 9-4
クライアント、定義 9-3, 10-2
ゲスト VLAN
設定時の注意事項 9-23, 9-24
説明 9-22
柔軟な認証順序付け
概要 9-31
設定 9-67
準備チェック
設定 9-42
説明 9-16, 9-42
スイッチ

RADIUS クライアント 9-3
プロキシとして 9-3, 10-2
スイッチ サプリカント
概要 9-33
設定 9-62
スタックの変更、作用 9-12
設定
802.1x 認証 9-40
RADIUS サーバ 9-45, 10-13
アクセス不能認証バイパス 9-56
違反モード 9-27, 9-39 ～ 9-40
ゲスト VLAN 9-53
手動でのクライアントの再認証 9-48
スイッチからクライアントへの再送信時間 9-49
スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 9-49, 9-50
スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-44, 10-11
制限 VLAN 9-54
待機時間 9-48
定期的な再認証 9-47
ホスト モード 9-45
設定時の注意事項 9-37, 10-9
説明 9-2
ダウンロード可能な ACL およびリダイレクト URL
概要 9-19 ～ 9-21
設定 9-64
デバイスの役割 9-3, 10-2
デフォルト設定 9-36, 10-9
デフォルト値へのリセット 9-69
統計情報の表示 9-69, 10-18
統計情報、表示 9-69
認証サーバ
RADIUS サーバ 9-3
定義 9-3, 10-2
複数の認証 9-13
方式リスト 9-40
ポート
音声 VLAN 9-26
許可および無許可 9-11
許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 9-11
ポートあたりの最大許容デバイス数 9-39
ポート セキュリティ
音声 VLAN 9-27
説明 9-26
相互作用 9-27
マルチホスト モード 9-12
ホスト モード 9-12
マジック パケット 9-28
マルチホスト モード、説明 9-12
ユーザ単位の ACL
AAA 許可 9-40
RADIUS サーバ アトリビュート 9-18
構成タスク 9-19
説明 9-18
ユーザ ディストリビューション
概要 9-28
注意事項 9-29
ポートベース認証方式、サポート対象の 9-8
ポート メンバシップ モード、VLAN 13-3
保護ポート 1-10, 26-6
保護モード
イネーブル化 3-19
説明 3-19
注意事項および制約事項 3-19
ディセーブル化 3-20
補助 VLAN
「音声 VLAN」を参照
ホスト数、ダイナミック ポートでの制限 13-33
ホスト ポート
種類 16-2
設定 16-12
ホット スタンバイ ルータ プロトコル
「HSRP」を参照
ポリサー
数 37-39
設定

一致するトラフィック クラスごとに 37-61
複数のトラフィック クラス用 37-74
説明 37-4
タイプ 37-10
表示 37-94
ポリシーベース ルーティング
「PBR」を参照
ポリシー マップ、QoS 用
SVI 上の階層型の
設定 37-66
設定時の注意事項 37-38
説明 37-12
階層型 37-9
説明 37-8
特性 37-61
表示 37-95
物理ポート上の非階層型の
設定 37-61
設定時の注意事項 37-38
説明 37-10
ポリシング
階層型
「階層型ポリシー マップ」を参照
説明 37-4
トークン バケット アルゴリズム 37-10
ポリシング済み DSCP マップ、QoS 用 37-78

ま

マーキング
集約ポリサーでのアクション 37-74
説明 37-4, 37-9
ポリシー マップのアクション 37-61
マクロ
「SmartPort マクロ」を参照
マジック パケット 9-28
マッピング テーブル、QoS 用
設定
CoS/DSCP 37-76
DSCP 37-76
DSCP/CoS 37-79
DSCP/DSCP 変換 37-80
IP precedence/DSCP 37-77
ポリシング済み DSCP 37-78
説明 37-13
マルチ VRF CE
サポート 1-15
設定 39-89
設定時の注意事項 39-90
設定例 39-98
定義 39-87
デフォルト設定 39-89
ネットワーク コンポーネント 39-89
パケット転送プロセス 39-89
表示 39-101
モニタリング 39-101
マルチキャスト TV アプリケーション 24-20
マルチキャスト VLAN 24-18
マルチキャスト VLAN レジストレーション
「MVR」を参照
マルチキャスト グループ
加入 24-3
スタティック加入 24-10, 25-9
即時脱退 24-6
脱退 24-5
マルチキャスト ストーム 26-1
マルチキャスト ストーム制御コマンド 26-4
マルチキャスト パケット
ACL 35-40
ブロッキング 26-8
マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリング 24-17, 25-13
マルチキャスト ルータ ポート、追加 24-10, 25-9
マルチドメイン認証
「MDA」を参照

み

ミラーリング トラフィック、分析用 30-1

め

メッセージ、バナーを使用してユーザへの 5-18
メトリック、BGP 内 39-63
メトリック変換、ルーティング プロトコル間 39-111
メトロ タグ 17-2
メンバシップ モード、VLAN ポート 13-3

も

モジュール番号 11-9
モニタリング
  BGP 39-75
  CDP 27-5
  CEF 39-103
  EIGRP 39-53
  Flex Link 21-15
  HSRP 41-12
  IEEE 802.1Q トンネリング 17-18
  IGMP
    スヌーピング 24-17, 25-13
    フィルタ 24-31
  IP
    アドレス テーブル 39-20
    マルチキャスト ルーティング 45-68
    ルート 39-120
  IP SLA 動作 42-13
  IPv4 ACL 設定 35-41
  IPv6 40-30
  IPv6 ACL 設定 36-10
  IS-IS 39-86
  ISO CLNS 39-86
  MAC アドレス テーブル移動更新 21-15
  MSDP ピア 46-19
  MVR 24-25
  OSPF 39-45
  RP マッピング情報 45-40
  Source-Active メッセージ 46-19
  SSM マッピング 45-24
  VLAN 13-15
    フィルタ 35-42
    マップ 35-42
  VMPS 13-32
  VTP 14-19
  アクセス グループ 35-41
  インターフェイス 11-29
  オブジェクト トラッキング 43-10
  機能 1-16
  スイッチ間を流れるトラフィック 31-1
  速度およびデュプレックス モード 11-21
  単一方向リンクのケーブル 29-1
  トラフィック抑制 26-21
  トンネリング 17-18
  ネットワーク トラフィック、プローブによる分析用 30-2
  フォールバック ブリッジング 47-11
  プライベート VLAN 16-15
  ポート
    ブロッキング 26-21
    保護 26-21
  マルチ VRF CE 39-101
  マルチキャスト ルータ インターフェイス 24-17, 25-13
  レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-18

ゆ

ユーザ EXEC モード 2-2
ユーザ単位の ACL および Filter-Id 9-9
ユーザ データグラム プロトコル
  「UDP」を参照
ユーザ名ベースの認証 6-7
優先処理、トラフィックの
  「QoS」を参照

ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-6
CPU パケット 5-29
スタティック アドレスの追加 5-30
設定時の注意事項 5-29
説明 5-29
ブロードキャスト MAC アドレス 5-29
マルチキャスト アドレス 5-29
ルータ MAC アドレス 5-29
ユニキャスト ストーム 26-1
ユニキャスト ストーム制御コマンド 26-4
ユニキャスト トラフィック、ブロッキング 26-8

よ

予約アドレス、DHCP プールの 22-29

ら

ライン コンフィギュレーション モード 2-3

り

リセット、BGP 内 39-61
リダイレクト URL 9-19, 9-21, 9-64
リトライ回数、VMPS、変更 13-32
リモート SPAN 30-3
「RSPAN」を参照
リモート コピー プロトコル
「RCP」を参照
履歴
コマンドの呼び出し 2-6
説明 2-6
ディセーブル化 2-7
バッファ サイズの変更 2-6
履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルおよび数 32-10
リロード、ソフトウェアの 3-27
リンク障害、単一方向での検出 19-8
リンク冗長性
「Flex Link」を参照
リンクステート トラッキング
設定 38-27
説明 38-25
リンクステート プロトコル 39-4
リンク、単一方向 29-1
リンク ローカル ユニキャスト アドレス 40-5
隣接テーブル、CEF の 39-103

る

ルータ ACL
タイプ 35-5
定義 35-3
ルータ ID、OSPF 39-44
ルーティング
情報の再配信 39-107
スタティック 39-4
ダイナミック 39-4
デフォルト 39-4
ルーティング ドメイン連合、BGP 39-72
ルーティング プロトコルの管理距離 39-106
ルーテッド パケット上、ACL 35-40
ルーテッド ポート
IP アドレス 11-25, 39-6
設定 39-6
定義 11-4
ルート ガード
イネーブル化 20-18
サポート 1-9
説明 20-10
ルート計算タイマー、OSPF 39-42
ルート サマライズ、OSPF 39-42
ルート スイッチ
MSTP 19-19
STP 18-17
ルート選択、BGP 39-62
ルート ターゲット、VPN 39-89
ルート ダンピング化、BGP 39-74

ルート マップ
BGP 39-65
ポリシーベース ルーティング 39-112
ルート リフレクタ、BGP 39-73
ループ ガード
イネーブル化 20-19
サポート 1-9
説明 20-11

れ

例
ネットワーク設定 1-20
レイヤ 2 traceroute
ARP 48-12
CDP 48-12
IP アドレスおよびサブネット 48-12
MAC アドレスおよび VLAN 48-12
使用時の注意事項 48-12
説明 48-12
ブロードキャスト トラフィック 48-12
ポート上の複数のデバイス 48-13
マルチキャスト トラフィック 48-12
ユニキャスト トラフィック 48-12
レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 11-18
レイヤ 2 フレーム、CoS による分類 37-2
レイヤ 2 プロトコル トンネリング
EtherChannel 用の設定 17-15
設定 17-10
注意事項 17-12
定義 17-8
デフォルト設定 17-11
レイヤ 3 インターフェイス
IPv4 アドレスおよび IPv6 アドレスの割り当て 40-17
IPv6 アドレスの割り当て 40-14
IP アドレスの割り当て 39-8
タイプ 39-6
レイヤ 2 モードからの変更 39-8, 39-93
レイヤ 3 機能 1-14
レイヤ 3 パケット、分類方法 37-2
レポート抑制、IGMP
説明 24-6
ディセーブル化 24-16, 25-12

ろ

漏出、IGMP レポートの 21-4
ローカル SPAN 30-2
ロード バランシング 41-4
ログイン認証
RADIUS による 6-30
TACACS+ による 6-14
ログイン バナー 5-18
ログ メッセージ
「システム メッセージ ロギング」を参照
ログ メッセージ、ACL 35-9
ロケーション TLV 28-3, 28-7

わ

ワイヤード ロケーション サービス
概要 28-3
設定 28-9
表示 28-10
ロケーション TLV 28-3